

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 弥栄福社会

— 目 次 —

第1	法人本部	2
第2	第一種社会福祉事業	11
	Ⅰ 養護老人ホーム寿光苑	11
	Ⅱ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑本館	26
	Ⅲ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑新館	45
第3	第二種社会福祉事業	59
	Ⅰ 短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業	59
	Ⅱ 弥栄デイサービスセンター（通所介護事業）	63
	Ⅲ 弥栄ヘルパーひだまり（訪問介護事業）	74
	Ⅳ 弥栄ヘルパー（障がい福祉サービス事業）	82
第4	公益事業	84
	Ⅰ ケアプランやさか（居宅介護支援事業）	84
	Ⅱ 高齢者等生活支援事業	94
	1 日常生活援助事業	94
	2 高齢者等安心生活支援事業	94
	Ⅲ 住宅型有料老人ホームの経営	96

事業報告の付属明細書

社会福祉法人 弥栄福祉会 令和4年度 事業報告書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

法人の基本理念「安全・信頼・継続」及び基本方針、職員行動指針を常に心がけて事業運営を進めた。

3年目を迎えた新型コロナウイルス感染症については、令和3年から始まったワクチン接種等により終息することを期待するなかで令和4年度を迎えたが、感染力の強いオミクロン株の感染の波は第六波、第七波、第八波と続き、前年度に引き続き感染症予防対策の強化に努めたところである。

弥栄苑では第八波の影響で12月に施設内においてクラスターが発生し、その他の事業所においても、入居者・利用者、職員等が感染し、弥栄福祉会が運営する各事業所の入所者・入居者、利用者及びご家族等に多大なご迷惑とご心配をかけたところであるが、ご理解とご協力をいただいたところであり、また、職員は、少人数での対応等で苦労が多かったが、事業運営に支障をきたすことがないよう、精一杯努めたところである。

令和4年度は、例年になく諸物価の高騰、光熱費の値上げなどがあり、各事業所とも苦慮したところであり、また、新型コロナウイルスの影響もあり、厳しい一年であった。

特に、弥栄デイサービスセンターは、平成29年度以降利用者の減少が続き、令和4年度は過去最低の利用者数になった。

年々利用者の減少が続き、今後の事業継続について廃止を含め検討を行い、弥栄地域に1か所の通所介護事業所であるため、弥栄地域住民の利便性等を考慮し、利用者に負担増をお願いしなければならなくなるが、次年度から、地域密着型へ移行することの結論に至り、3月の理事会において関係の規程の改正を行ったところである。

地域密着型の通所介護事業へ移行することを契機に、設置することが義務付けられている運営推進会議で地域住民等からの要望、助言等を聴き、地域との交流を図るなど、地域との結び付きを一層重視し、利用者一人一人に対して、細やかなサービスを提供するなど、一層充実しなければならない。

その他の事業についても、今後、厳しさが一層増すことが予測される場所であるが、経営改善に努め、法人の基本方針や老人福祉法及び介護保険法に基づき、高齢者等の心身の健康の保持及び生活の安定のため、また、要介護状態となっても尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援していかなければならない。

第1 法人本部

1 法人の概要

法人の所在地	浜田市弥栄町長安本郷442番地2	代表者氏名	理事長 石橋 正夫
法人認可年月日	昭和52年12月21日	設立登記年月日	昭和53年 2月13日

2 法人の行う事業（令和5年3月31日現在）

事業の種類	施設種別等	名称等	施設長等氏名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	・養護老人ホーム ・特別養護老人ホーム	養護老人ホーム寿光苑 特別養護老人ホーム弥栄苑本館 特別養護老人ホーム弥栄苑新館	小笠原 詞子 50名 岩田 真美恵 30名 岩田 真美恵 40名
	第二種社会福祉事業	・老人短期入所事業 ・老人デイサービス事業 ・老人居宅介護等事業 ・障害福祉サービス事業	弥栄福祉会 弥栄苑事業所 弥栄デイサービスセンター 弥栄ヘルパーひだまり 弥栄ヘルパー	岩田 真美恵 6名 金高 哲 20名 金高 哲 金高 哲
公益事業	居宅介護支援事業	・居宅介護支援事業	ケアプランやさか	島田 礼子
	高齢者等生活支援事業	・日常生活援助事業 ・高齢者等安心生活支援事業		島田 礼子
	住宅型有料老人ホームの経営	・住宅型有料老人ホーム	やさかやすらぎの家	岩田 真美恵 6名

3 役員・評議員等の状況（令和5年3月31日現在）

役職名	氏名	就任年月日(当初)	備考	役職名	氏名	就任年月日(当初)
理事長	石橋 正夫	平14. 7. 22		評議員	伊藤 晴子	平14. 3. 19
		平20. 3. 29(理事長)		〃	王子 幸子	平14. 3. 19
理事	小松原 和則	平18. 3. 29		〃	串崎 利行	平26. 3. 19
〃	徳田 マスエ	平19. 4. 1		〃	栗栖 卓三	平18. 3. 19
〃	阪田 誠嗣	平29. 6. 19		〃	古賀 五之	平14. 3. 19
〃	小笠原 詞子	令元 6. 27		〃	日原 政春	平28. 3. 19
〃	太田 奈緒美	令3. 6. 29		〃	三浦 正明	平29. 4. 1
監事	宅和 保信	平22. 6. 1				
〃	賀戸 ひとみ	令3. 6. 29				

※理事・監事の任期は令和5年の定時評議員会まで

※評議員の任期は令和7年の定時評議員会まで

4 理事会開催状況

開催年月日	主な議事等
4. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専決事項の報告 ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度弥栄福祉会事業報告（社会福祉事業）について ・ 令和3年度弥栄福祉会事業報告（公益事業）について ・ 令和3年度弥栄福祉会社会福祉事業決算について ・ 令和3年度弥栄福祉会公益事業決算について ・ 職員の給与に関する規則の一部改正について ・ 職員の給与の支給に関する規程の一部改正について ・ パートタイム労働者等の給与に関する規程の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑本館運営規則の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑新館運営規則の一部改正について ・ ケアプランやさか運営規程の一部改正について ・ 弥栄福祉会弥栄苑事業所運営規程の一部改正について ・ 定時評議員会の開催について ○ その他

4. 9. 27	<p>○ 理事会決議の省略</p> <p>社会福祉法第45条の14第9項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第31条第2項に基づき、理事長より、全ての理事に提案書及び同意書を、全ての監事に提案書及び確認書を送付し、全ての理事より同意書を、全ての監事より確認書の提出を受けたことにより、理事会の決議があったものとみなした議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑本館運営規則の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑新館運営規則の一部改正について ・ 弥栄福祉会弥栄苑事業所運営規程の一部改正について ・ 弥栄デイサービスセンター運営規程の一部改正について ・ 弥栄ヘルパーひだまり運営規程の一部改正について
4. 12. 9	<p>○ 専決事項の報告</p> <p>○ 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施状況の報告 ・ 監事の意見 <p>○ 議案審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉事業区分第1次補正予算における積立資産の取崩しについて ・ 令和4年度弥栄福祉会社会福祉事業区分第1次補正予算について ・ 令和4年度弥栄福祉会公益事業区分第1次補正予算について ・ 寿光苑食事サービス提供業務委託契約締結の承認について ・ 特別養護老人ホーム弥栄苑及び弥栄デイサービスセンターの食事サービス提供業務委託契約締結の承認について ・ 社会福祉法人弥栄福祉会インターネットバンキング（ID、パスワード方式）利用規程の制定について ・ 定年後の勤務延長制度規程の制定について ・ 弥栄デイサービスセンター運営規程の一部改正について <p>○ その他</p>
5. 3. 30	<p>○ 専決事項の報告</p> <p>○ 議案審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉事業区分第2次補正予算における積立金の積立並びに取崩額の変更について ・ 令和4年度社会福祉事業区分第2次補正予算について ・ 令和4年度公益事業区分第2次補正予算について ・ 社会福祉法人弥栄福祉会経理規則の一部改正について ・ 弥栄福祉会パートタイム労働者就業規則の一部改正について ・ 弥栄福祉会無期雇用契約職員就業規則の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑本館運営規則の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑新館運営規則の一部改正について ・ 弥栄デイサービスセンター運営規程の一部改正について ・ 弥栄福祉会有料老人ホーム規程の一部改正について ・ 住宅型有料老人ホームやさかやすらぎの家管理規程の一部改正について ・ 職員の旅費に関する規則の一部改正について ・ 令和5年度弥栄福祉会事業計画について（社会福祉事業） ・ 令和5年度弥栄福祉会事業計画について（公益事業） ・ 令和5年度社会福祉事業区分予算における積立資産の積立並びに取崩について ・ 令和5年度社会福祉事業区分予算について ・ 令和5年度公益事業区分予算について <p>○ その他</p>

5 評議員会開催状況

開催年月日	主な議事等
4. 6. 28	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度弥栄福祉社会事業報告について ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書）及び財産目録の承認について ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ その他

6 監事監査状況

開催年月日	監査内容
4. 5. 20 26 28	令和3年度監事監査 法人本部、第1種社会福祉事業（寿光苑・弥栄苑）、第2種社会福祉事業、公益事業
4. 11. 21 11. 22 11. 24	令和4年4月～令和4年9月定期監事監査 法人本部、第1種社会福祉事業（寿光苑・弥栄苑）、第2種社会福祉事業、公益事業

7 役員協議会等

開催年月日	内容
4. 7. 6	役員協議会 ○ 協議議題 ・ 弥栄苑入所者分の薬剤等の取扱い薬局について
5. 3. 16	新年度事業説明会 ○ 内容 ・ 令和4年度法人実地指導監査にかかる指摘事項への対応について ・ 令和5年度通所事業について 地域密着型デイサービス及び令和5年度予算について ・ その他

計 画	実績または状況	到達度
-----	---------	-----

8 役員等研修

(1) 加盟する団体等の主催する研修会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営協セミナー ・ 地域公益活動推進セミナー ・ 社会福祉法人役員セミナー ・ 社会福祉法人監事研修 ・ 人権研修（講演会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画分 3/7 理事長出席 ・ その他分 公正採用選考人権啓発推進員研修 9/1 理事長出席 	A
--------------------------	--	---	---

9 要員計画の策定（職員の確保と育成）

(1) 採用計画の策定	職員状況（必要人員と年齢構成等による将来見込）による事業所、職種別の採用計画を策定する。	法人全体では採用計画の策定に至っていない。 喫緊の問題に対しては	B
-------------	--	---	---

	併せて努力義務となっている定年の見直しに向けた検討を行い、採用計画に反映する。	「定年後の勤務延長制度規程」を制定し対応する。	
(2) 要員確保の計画・実施	要員計画に基づき、ハローワーク・福祉人材センターに加え、適切な広告媒体（新聞折込・インターネット等）の利用を検討、計画し、要員確保を行う。	根拠となる計画が未策定であるが、ハローワーク・福祉人材センター等を利用し、事業所毎の退職等に対応した採用がなされるように募集を行う。	—
(3) キャリアパス（職員の昇進経路を明確にすること。）と人材育成	全事業所において、次の面接等を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア面接：5年に1回行う。 ・ 目標面接：毎年度4月～5月、2月～3月に実施する。 ・ 能力評価：12月～1月に実施する。 	目標面接、能力評価ともに在宅事業（居宅を除く）を除き、計画のとおりほぼ達成	B
10 法人職員の健康管理等			
(1) 安全衛生管理活動計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生委員会を毎月1回開催 ・ 定期的な職場の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月開催（コロナ対応により文書回覧のみの月を含む） ・ 毎月1回実施 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇入れ時の健康診断 ・ 定期健康診断の実施（毎年1回、夜勤対象職員は年2回） ・ 腰痛予防対策 ・ ストレスチェックの実施 ・ 健康相談（毎月1回事業所外で実施） ・ その他安全衛生活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規雇用者全員に実施 ・ 8/25、11/30等で全員健診実施（夜勤対象職員は3月に実施） ・ 始業前及び15時の体操の実施 ・ 腰痛予防ベルトの使用 ・ 予防研修の実施（弥栄苑） ・ 9月～10月にかけて実施 ・ 毎月1回及び希望職員の都合に合わせ随時実施 ・ 浜田市の行う健活プロジェクトへの参加（寿光苑） 	

(2) 「健康宣言事業所」へのエントリー	<p>ア 健康診断の受診・重症化防止</p> <p>イ 健康管理・安全衛生</p> <p>ウ 喫煙対策</p> <p>エ メンタルヘルス対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診受診と精検対象者の受診の徹底 ・ 前記項目の実施の徹底 ・ 分煙の徹底と禁煙外来受診の推進 ・ ストレスチェック、健康相談 	A
(3) 年次有給休暇の取得	<p>年間10日以上年次有給休暇が付与される職員について、年5日間以上の年次有給休暇の取得を促し、取得が見込めない職員に対しては、管理者が取得日を指定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所において把握の上、対象職員の5日以上取得全員達成 	A
(4) 子育て支援	<p>育児・介護休業等に関する規程を改正し、今年度から新たに次のことに取り組み子育て支援を充実する。</p> <p>ア 育児休業を取得しやすい雇用環境の整備として、育児休業・産後パパ育休に関する相談体制の整備（相談窓口の設置）</p> <p>イ 妊娠・出産（本人または配偶者）の申出をした職員に対する個別の周知・意向確認の措置（各種制度の周知）</p> <p>ウ 産後パパ育休（出生時育児休業）の創設や育児休業の分割取得 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種制度の周知と利用促進のため、説明を行うなどにより子育て支援に努めた。 	A
11 法人諸事業の総合的運営			
(1) 管理者会の開催	<p>事業所の管理者等で構成する管理者会を毎月1回開催し、円滑な事業運営のための状況把握と、運営にかかる課題等の協議を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画のとおり毎月開催し、協議を行う 	A
12 事業経営の透明性の推進			
(1) 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告・決算資料（財務諸表）など、事務所窓口で公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人本部窓口にて5年分を設置、公開 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業経営状況のホームページ等による公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当法人ホームページ及び独立行政法人福祉医療機構の電子開示システム 	A

		において公表	
(2) 広報誌の発行	・ 「寿だより」、「ひだまり」の発行	・ 寿だより年2回、ひだまり年3回発行	A
13 地域における公益的な取り組み			
(1) 地域貢献活動	<p>社会福祉法人は、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。このことを踏まえ、次の事業を継続のほか実施事業の検討を行う。</p> <p>既存の公益事業の継続 弥栄診療所の環境維持活動(草刈等) への参加・協力など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の公益事業の継続実施 ・ 弥栄診療所周辺の草刈活動協力(延6人) 	A
(2) 浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会	<p>浜田市内23法人の会員法人とともに、広域的な社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動へ取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動検討会議への参加 ・ 「よつば相談窓口」の設置 <p>法人が連携して相談者の困りごと解決に貢献することを目的に「寄り添いつなげる場ふくしのよつば相談窓口事業」が年度末に開始され、弥栄福祉会では弥栄苑を窓口して相談を受け付ける。</p>	A
14 浜田市協働のまちづくりの推進			
(1) 浜田市協働のまちづくりの推進	<p>令和3年度から施行になった「浜田市協働のまちづくり推進条例」に基づいたまちづくりへ対し、地域の事業者の立場から、まちづくり活動団体として「弥栄のみらい創造会議」の構成員及び推進委員として参画し、協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり推進委員会である「弥栄のみらい創造会議」へ委員3人の参画。3人のうち1人は他の団体からの推薦による。 	A
15 避難所としての施設利用等			
(1) 弥栄苑の活用	<p>避難所での避難生活に特別な配慮が必要な方を対象とした「福祉避難所」は「弥栄会館」が指定されているが、設備等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大災害発生時に、近隣住民に一時的な避難所として利用していただくこととしていたが、災害の発 	-

	や受入許容量に問題が予想されるため、大災害が発生した場合には、弥栄苑は地域の自主防災組織と連携し施設を福祉避難所的な役割として協力する。	生がなかった。	
--	--	---------	--

16 住宅型有料老人ホームやさかやすらぎの家の経営

(1) 高齢者の安心・安全な生活を支援	隣接する介護保険事業所との連携により、安心・安全な生活を支援し、建物の目的である地域における高齢者向けの住まいとしての役割を果たしながら安定した経営を目指す。	・ 計画のとおり実施 利用率は93.8%であった。	B
---------------------	---	------------------------------	---

17 感染症対策及び業務継続に向けた取り組みの強化

(1) 感染症対策・業務継続に向けた取り組み	各事業所とともに感染症予防、感染症のまん延防止対策及び感染症発症時や災害時などの際の業務継続計画・マニュアルなどを作成し対応することとしているが、一層の強化を図る。	・ 法人本部において、各事業所からの情報収集と指示の一元化を行った。 ・ 業務継続計画については、次年度に作成する。	A
------------------------	--	---	---

18 職員の状況 (令和5年4月1日現在)

事業所等	職員数	内 訳		令和4年4月1日現在の職員数	備 考
		正規職員	パート職員		
法人本部	2(1)	1(1)	1	2(2)	内 寿光苑兼任1人 再雇用1人
寿光苑	21(1)	11(1)	10	23(2)	内 本部兼任1人 再雇用1人
弥栄苑	53	30	23	54	内 再雇用6人
弥栄デイサービスセンター	9(2)	4(2)	5	10(2)	内 ヘルパー兼任2人
弥栄ヘルパーひだまり	9(2)	3(2)	6	9(2)	内 デイ兼任2人
ケアプランやさか	2	2		3	
合計	※2 93(3)	※2 48(3)	※2 45	97(4)	

※1 ()内は兼務職員数

※2 兼任分の重複を除く実数

19 苦情受付内容及び解決結果

		寿光苑	弥栄苑 (本館・ 新館・短 期入所)	弥栄デ イサー ビスセ ンター	弥栄ヘ ルパー ひだま り	弥栄ヘ ルパー	ケアプ ランや さか	計
① 申出者	本人	0	0	0	0	0	0	0
	家族	0	0	0	1	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	0	0	1
② 内容	設備・備品関係	0	0	0	0	0	0	0
	職員の対応	0	0	0	1	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	0	0	1
③ 結果	即日解決	0	0	0	0	0	0	0
	数日中に解決	0	0	0	0	0	0	0
	1か月以内に解決	0	0	0	0	0	0	0
	3か月以内に解決	0	0	0	0	0	0	0
	主訴確認不可	0	0	0	0	0	0	0
	未解決(年度末)	0	0	0	1	0	0	1
	計	0	0	0	1	0	0	1

第2 第一種社会福祉事業

I 養護老人ホーム寿光苑

【経営】

項目	計 画	実 績	到達度
1 収 入	<ul style="list-style-type: none"> 事務費収入対象入所率 98% 障害者加算対象者（困難事例受け入れを月 32 名で維持 加算申請（心身機能低下防止事業、高度処遇強化事業） 入居者処遇特別加算申請 養護老人ホーム職員の給与改善に向けた措置費引き上げ要請 浜田市介護人材確保・定着対策事業補助金の申請 	<ul style="list-style-type: none"> 99.8% 月平均 39 名 加算取得 加算取得 老人保護措置費に係る支弁額支給 補助金取得 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
2 支 出	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に続き、人手不足等への対応を含め、アウトソーシングや機械化について検討し、実施を試みる。 光熱水費削減に向けての取組みの継続 事務作業の省力化及び労務管理に向けた取組みの検討、実施 		<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

※ 到達度説明（以下、他の事業所分報告についても同じ。）

A : 計画に対し、100%以上または計画を十分に上回った状態

B : 同、80%以上 100%未満または計画を達成した状態

C : 同、50%以上 80%未満または計画をほぼ達成した状態

D : 同、50%未満または計画を大幅に下回った状態

— : 新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった状態

【重点目標】

目 標	実 績
<ul style="list-style-type: none"> 収入増加分、支出の削減による収支差額が生じたら、施設等整備積立、人件費積立をする。 	施設等整備積立及び人件費積立を行うことができた。
<ul style="list-style-type: none"> 「3の目標」 ① 日用品費 -30% ② ヒヤリ、ハット提出件数 月3件 	<ul style="list-style-type: none"> ① 目標達成 ② 9月は1件、1月と2月はコロナ感染対応のため各1件
<ul style="list-style-type: none"> 転倒防止（事故報告転倒件数が減る） 	14件にて目標達成（H. 30～37件、R3～23件）

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1 食事	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の日々の状態に留意し、健康や嗜好を考慮した献立を作成する。 入所者参加型の山菜取りやお菓子作りを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 計画通り実施 	<p>A</p> <p>A</p>
食事の詳細	<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取基準量 1400Kcal～2000Kcal 嗜好調査、残菜調査 栄養指導（集団、個人） 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養実績の通り 計画通り実施 計画通り実施 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
2 排泄	<ul style="list-style-type: none"> 個々のアセスメントを行った上で、入所者の能力に応じた声掛け、ケア、用具の選定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	<p>A</p>
3 入浴	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の能力にあった方法で、残存機能を活かしたケアを行う。 入浴拒否のある入所者には入浴ができるよう働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	<p>A</p>
<ul style="list-style-type: none"> 入浴頻度は、介助浴 2回/週、一般浴 3回/週（夏期はシャワー毎日）体調不良時は清拭を行った。 			
4 機能訓練	<p>重点 身体機能が維持でき転倒を予防できる取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操・下肢機能訓練体操、パタカラ体操の継続（1日2回） こけぼけ（こけない、ぼけない）クラブによるボッチャ 外部講師による音楽療法 スポーツクラブ 内職作業の取り組み いきいき教室 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 ボッチャ導入により身体機能を維持 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 5/31、10/28 木下作業療法士による介護予防機能訓練実施 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
5 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の健康を生活の中でトータル的に維持できるように取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	<p>A</p>
<ul style="list-style-type: none"> 入所直後、集団生活による精神的負担が緩和できるよう定期的に精神科診療を設け、精神科医との連携を図る。 入所者の心身の状態を医学的、看護学的観点からケアに結び付けられるよう各職種と連携する。 入所者、家族の希望時、看取りに取り組む。 緩和ケアに取り組む。 アドバンス・ケア・プランニング（これからの治 		<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 16名実施 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

療やケアに関する話し合い) に取り組む。			
6 生活相談	<ul style="list-style-type: none"> 入所者、家族が満足できるような関わりを持つ。目標値 アンケート結果満足度 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 アンケートはコロナ感染対応にて未実施 	A -
	<ul style="list-style-type: none"> 入所直後、生活になじめるような関わりを持つ。 入所者間でのトラブル等が解決できるような関わりをもつ。 自立した生活ができるような関わりをもつ。 家族との情報交換を密にして相談しやすい関係を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 	A A A A
7 教養娯楽	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみ、役割を生きがいにつなげる。目標値 アンケート結果満足度 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 アンケートはコロナ感染対応にて未実施 	A -
	<ul style="list-style-type: none"> 興味があることを聞き取りし、実現できるように支援を行う。 内職、スポーツクラブ、カラオケクラブ、大相撲勝敗予想、山菜採り、お菓子作り、花・野菜作り、個人の趣味(囲碁、手芸、パズル、習字、塗り絵等)を継続する。 専用室での映画上映(「気分転館」と呼称する) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 (詳細はクラブ、行事実施状況の通り) 計画通り実施 計画通り実施 	A A A
8 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> 介護事故を予防できる要因を見つける。 目標 ヒヤリ、ハット月3件以上提出 	<ul style="list-style-type: none"> 9月は1件、1月、2月はコロナ感染対応にて各1件の提出であったが、他の月は3件以上提出し事故予防を図った。 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 事故を想定した処遇計画をたて実施する ヒヤリ・ハットの提出 リスクマネジメント研修、 点検・器具、設備(ナースコール作動、その他設備全般) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
9 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 火災、震災、土砂災害、防犯、感染対応ができ、BCP(事業継続計画)が実働できるよう訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> BCP(事業継続計画)に沿って実施 実際、新型コロナウイルス感染の発生(クラスター)がありBCPに沿って対応 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 消防、震災、土砂、炊き出し、防犯の訓練を実施した。 食中毒予防のため、入所者用冷蔵庫の点検を実施した。 		
10 苦情	<ul style="list-style-type: none"> ケアの質の向上、満足度を把握し、職員教育に反映する。目標値 アン 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 アンケートはコロナ 	A -

	ケート結果満足度 100%	感染対応にて未実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 苦情申し出 アンケート (面会者、家族、入所者) 	<ul style="list-style-type: none"> 受付 0件 コロナ感染対応にて未実施 	-
11 家族連携	<ul style="list-style-type: none"> 家族との情報交換を密にし、相談しやすい関係作りをする。目標値アンケート結果満足度 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 アンケートはコロナ感染対応にて未実施 	A -
	<ul style="list-style-type: none"> 入所時、「入所のしおり」に基づき丁寧に説明をする。 入所者の心身の状況等、家族へ報告、連絡、相談をし、誠意ある対応に努める 関係が希薄な家族や、連絡の取りにくい家族に対し齟齬が生じないよう措置機関と連携する。 家族通信の発行、家族の集い、写真の送付 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入所者 8名に計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 コロナ感染症予防のため、家族の集いについては未実施 	A A A A
12 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生活していた入所者が、入所後、孤立せず地域に参加でき、役割や生きがいを感じられるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 風の里との交流 (輪投げ、ポッチャ) 公民館・苑行事餅つきへのボランティア呼びかけ、その他催し物への参加 弥栄小学校・「ふるさと教育推進事業」みそ作りのための大豆選別、持久走、運動会の見学、校外学習の受け入れ 保育所、中学校の神楽訪問、職場体験受け入れ 地域企業との内職取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症予防のため実施できず 公民館行事は参加 依頼がなかったため未実施 計画通り実施 計画通り実施 	- A - A A

【人材育成】

1 研修

(1) 職場内研修

月	研修内容	実績	到達度
4月	感染教育 (結核・疥癬)	12 職場内研修状況 (24 ページ) 参照	A
5月	介護技術 (スライドボード、スライドシートの使い方)		
6月	救急対応 (熱中症)		
7月	手洗い		
8月	人権、権利擁護、後見人制度について		
9月	後見人制度について		

10月	メンタルヘルスについて	
11月	感染教育（ノロウイルス対応）	
12月	高齢者虐待、身体拘束、抑制について 各施設の種類と特徴	
1月	高齢者虐待・身体拘束・抑制について	
2月	看取りについて	
3月	リスクマネジメント（マニュアルの見直し）	

(2) 職場外研修

研修区分	計 画	実 績	到達度
第1種研修	新任職員マナー研修 キャリアパス対応・初級 リスクマネジメント研修 介護支援専門員 介護職員初任者	計画通り実施したが、一 部の研修で定員を超過し受 講できなかった。介護支援 専門員は、経験年数が不足 にて今年度は見送った。	A
その他、行政及び当法人が加入の団体等が行う研修に参加した。（24 ページ「13 職場外研 修の状況」参照）			

2 プリセプターシップ

役割	研 修 内 容	実 績	到達度
プリセプター (先輩職員)	1年を通じて、自分の担当する業務、看護、 介護ケアをプリセプティとともに提供する。 そのなかで看護、介護技術アセスメント、対 人関係、自己管理の方法など、広範囲にわた ってお手本を示しながら指導を行う。また、 座学による指導を行う。	1件	A
プリセプティ (新人職員)	1年を通じて、プリセプターを模範に各種 の看護・介護や業務を実践し、フォローをう けながら、知識や技術の定着を目指す。	1件	A

3 キャリア面接

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	4月～5月	計画通り実施	A

4 目標面接

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	4月～5月、2月～3月	計画通り実施	A

5 能力評価

対象	実施予定期間	実績	到達度
全職員	12月～1月	計画通り実施	A

【その他】

1 会議・委員会の開催

(1) 会議

名称	開催計画	実績	到達度
職員会議	1回/1ヶ月	計画通り実施	A
ケアカンファレンス	1回/1ヶ月	計画通り実施	A

(2) 委員会

名称	開催計画	実績	到達度
統括リスクマネジメント委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
感染食中毒予防対策委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
介護安全対策委員会	1回/1ヶ月	計画通り実施	A
身体拘束検討委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
給食委員会	1回/1ヶ月	計画通り実施	A
研修委員会	1回/1年	計画通り実施	A
防火管理委員会	6月、10月	計画通り実施	A
防災対策委員会	6月、10月	計画通り実施	A
防犯対策委員会	5月、10月	計画通り実施	A
編集委員会	6月、9月、11月	計画通り実施	A

(3) 他の事業所と共催

名称	開催計画	実績	到達度
管理者会議	1回/1ヶ月	計画通り実施	A
看護職員会議	2～3回/1年	新型コロナウイルス感染症予防のため未実施	-
安全衛生委員会	1回/1ヶ月	計画通り実施したが、新型コロナウイルス感染症予防のため、参加できない月があった	A

【報告資料】

1 月別入退所及び入退院状況

	月初人員	内障害者 加算人員	入退所		入院の状況	
			入所	退所	入院者実数	入院延日数
3月末	49					
4月	50	38	1	2	2	28
5月	50	37	0	1	0	0
6月	50	38	2	1	0	0
7月	50	39	0	0	1	24
8月	50	39	0	1	2	19
9月	50	38	2	1	1	5
10月	50	39	0	0	2	24
11月	50	40	0	0	2	43
12月	50	40	0	0	1	19
1月	49	40	2	1	2	16
2月	50	41	0	0	2	23
3月	50	41	1	0	2	41
月初平均	49.9	39.2	退所内訳：特養転所3、死亡4（内苑で死亡1）			

2 措置機関別入所状況（令和5年3月31日現在）

単位：人

措置(委託)者	男性	女性	計
浜田市	17	30	47
江津市	1	2	3
計	18	32	50

3 入所者要介護度等状況（令和5年3月31日現在）

単位：人

	要支援		要介護					自立	内障がい者 加算対象
	1	2	1	2	3	4	5		
男性	0	0	0	0	0	0	0	18	17
女性	0	1	1	2	0	0	0	28	24
小計	0	1	1	2	0	0	0	46	41
合計	1		3					46	41

4 介護保険サービス利用状況 (令和5年3月31日現在)

単位：人

	訪問介護	通所介護・介護予防通所介護	福祉用具貸与 介護予防福祉用具貸与
男性	0	0	0
女性	2	2	2
計	2	2	2

5 入所者年齢階層別状況 (令和5年3月31日現在)

単位：人、歳

	65歳未満	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	0	3	8	6	1	18	77.2	67	96
女性	0	1	4	14	13	32	87.1	68	98
計	0	4	12	20	14	50	83.6	—	—

6 日常生活動作及び精神の状況 (令和5年3月31日現在)

単位：人

歩行	自立		着脱	自立		身体障害	視覚障害			
		16			29			1		
	杖	7		一部	6		聴覚・平衡機能障害	0		
	シルバーカー	10		全介助	15		音声・言語・咀嚼機能障害	0		
	歩行器	9	食事	自立	32	精神障害	肢体不自由	6		
	車椅子	8		一部	3		内臓機能等の疾患による内部障害	1		
				全介助	0		知的障害	6		
排泄	日間	便所	自立	32	入浴	自立	19	統合失調症	7	
			一部	6		一部	8	そううつ病	2	
			全介助	1		全介助	21	うつ病	6	
		Pトイレ	自立	3	見守り	2	神経症	2		
			一部	3	指示	15	適応障害	0		
			全介助	3			その他	1		
	夜間	便所	自立	30	洗濯	自立	24	認知症	軽度	8
			一部	5		一部	10		中度	10
			全介助	1		全介助	16		重度	15
		Pトイレ	自立	7	居室掃除	自立	7	アルコール依存症	3	
			一部	2		一部	7			
			全介助	2		全介助	36			
		居室	全(オムツ)	2	爪切り介助	44				
		パルン	1	口腔清潔介助	10					
		はくパンツ	17	洗面全介助	3					
尿とりパット	23	水補	22							
尿器	0									

※精神障害、身体障害の数値は重複記載

7 栄養実績

(単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
1日当たりの 平均必要量	1,634	58.4	600	10	(上限値) 7.5
年間平均 給与栄養量	1,593	58.9	629	9.7	7.6
(単位)	ビタミンA (μ g)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食物繊維 (g)
1日当たりの 平均必要量	560	0.90	1.07	100	18
年間平均 給与栄養量	639	1.37	1.22	122	12.7

※ 1日当たりの平均必要量とは、令和5年3月31日時点での入所者の状況で算出した1人当たりの1日に必要な量（常食）

- 入所者50人のうち約10～15人は、皿に盛りつけたものをお盆にとっていくスタイルのため、実際の献立で算出した量を摂取しているわけではない。

入所者の年齢や身体活動レベルは、60歳後半から90歳後半と幅広いため、個別に摂取量を算定し提供している。

入所者によっては食事量に極端な偏りがあり、食事の際に嫌いなものも食べるように声かけを行うなどの対策をとっているが、個々の体調や嗜好もあるため強制はしていない。

- 入所者の残菜が少ないメニューを取り入れた。

8 特別食等の状況（令和5年3月31日現在）

種別		人数	種別	人数
糖尿	1,200kcal	1	塩分制限	7
	1,400kcal	1	たんぱく質制限	0
	1,600～1720kcal	6	カリウム制限	0
	2400kcal	0	代替（肉、青魚禁等）	2

9 地産地消の状況

給食の安定供給に欠かせない食材の調達は、危機管理という視点からも受託事業者の重要な問題であるが、当法人の意向を理解の上、弥栄町産食材を次のとおり使用した。

1年間の購入額

・米 1,107,000円（税込） ・野菜類 330,580円（税込）

全体割合 主食100% 他2.6%

10 ヒヤリ・ハット&事故報告書

(1) 種類別報告件数

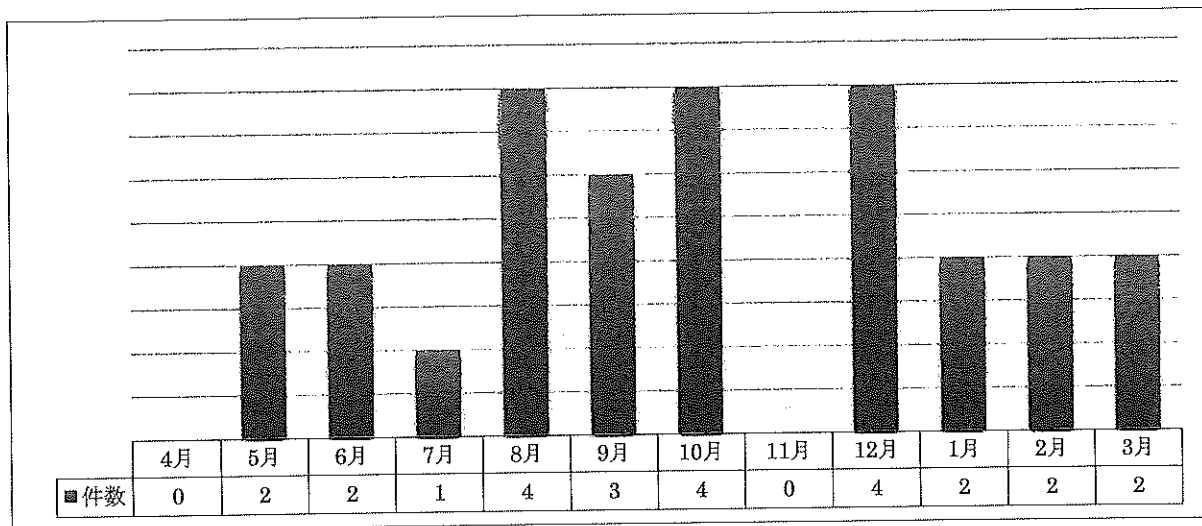
① ヒヤリ・ハット

種類	転倒	転落	誤薬	ざり落ち	紛失	裂傷	打撲	離苑	その他	計
件数	18	0	0	0	0	0	0	1	14	33

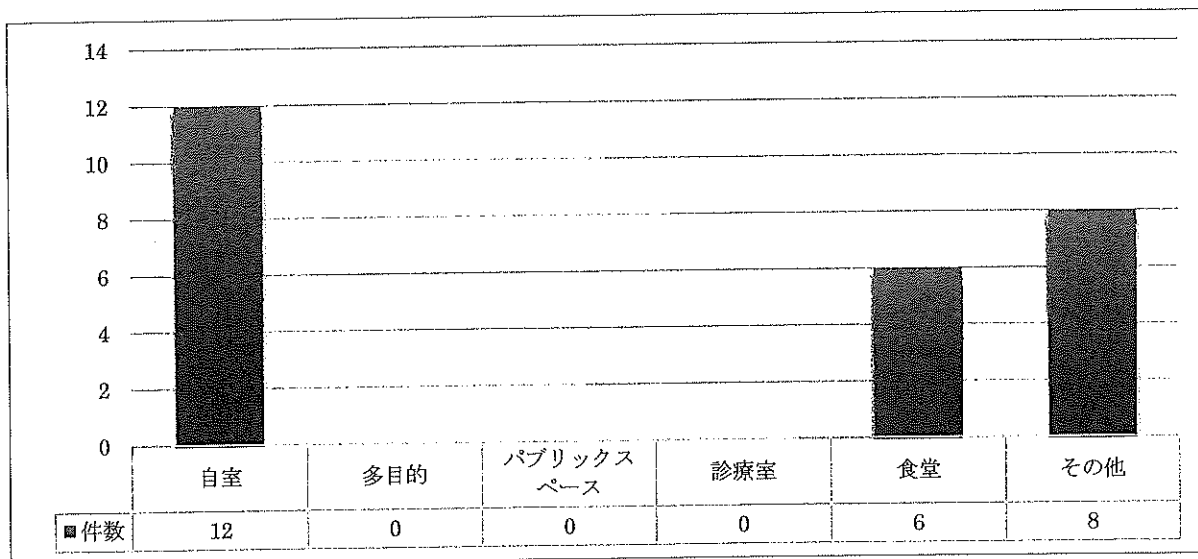
② 事故

種類	転倒	転落	誤薬	ざり落ち	表紙離れ	窒息	打撲	離苑	その他	計
件数	14	0	3	2	0	0	0	1	6	26

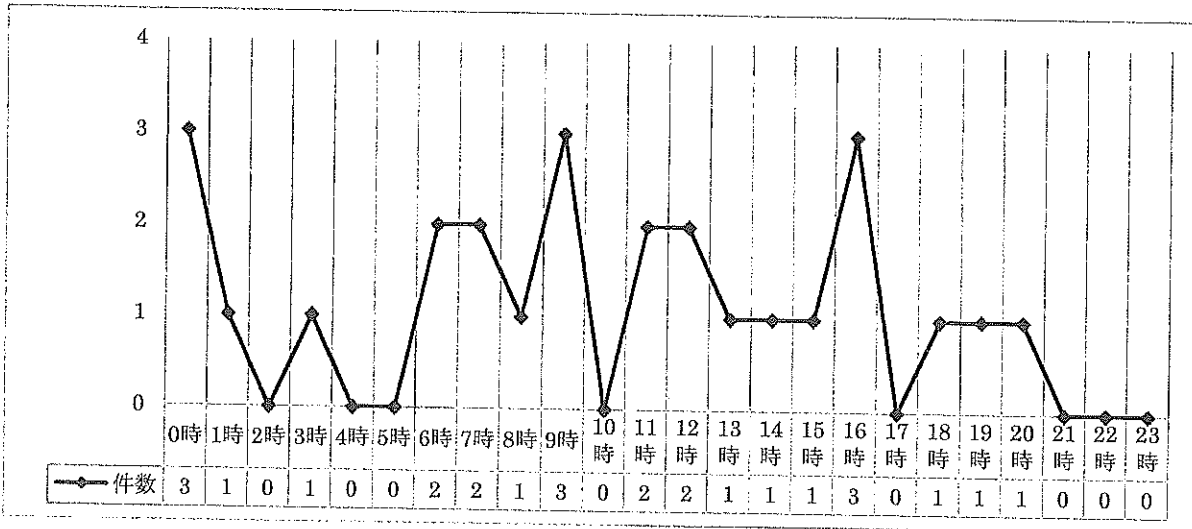
(2) 月別事故発生件数



(3) 場所別事故発生件数



(4) 時間帯別事故発生件数



(5) 自立度、認知症別事故発生件数

障がい者	認知症								計
	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	
自立	1								1
J-1	2								2
J-2		1	1						2
A-1	1			1	1				3
A-2	4	1		1		1	1		8
B-1	1	1			2	1			5
B-2	2				2				4
C-1					1				1
C-2									
計	26	11	3	1	2	6	2	1	26

【障がい者高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準】

（注）以下、この基準は後述の他事業所分においても使用のため参照すること。

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 1 交通機関等を利用して外出する。 2 隣近所なら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。 1 介助により外出し、日中もほとんどベッドから離れて生活している。 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。 1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2 介助により車椅子に移乗する。
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 1 自力で寝返りをうつ。 2 自力では寝返りもうたない。

〔認知症高齢者の日常生活自立度判定基準〕

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している。	
II	日常生活に支障を来たす様な症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
IIa	家庭外で上記IIの状態が見られる。	度々道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
IIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たす様な症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIIIaに同じ
IV	日常生活に支障を来たす様な症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIaに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

<評価>

- ・ 同一入所者による事故が多く、入所者の特徴としては、認知度が高く、自立度の低下を有する方が事故を起こしている。
- ・ 時間帯別では9時、16時、0時が多く、場所は自室が多い。

<今後の対策>

- ・ 転倒の多い入所者には、今後も居室環境の整備等、その都度、対策を検討・実施する。
- ・ 1日に2回のラジオ体操及び下肢機能訓練、嚥下機能訓練を毎日実施しており、一定の効果が現れているため今後も継続していく。参加に消極的な入所者へも声掛けを行っていく。

11 行事実施状況

月日	行事等	月日	行事等
4月6日	カラオケクラブ	10月5日	お菓子作り
4月8日	こけぼけクラブ	10月6日	カラオケクラブ
4月13日	スポーツクラブ	10月12日	スポーツクラブ
4月19日	音楽療法	10月13日	こけぼけクラブ
4月20日	気分転館	10月18日	生け花クラブ・音楽療法
4月26日	お取寄せ HAMADA	10月19日	敬老会・米寿
4月27日	輪投げ大会	10月26日	輪投げ大会
5月4日	カラオケクラブ	10月27日	気分転館
5月10日	山菜採り	10月28日	介護予防教室
5月11日	こけぼけクラブ	11月2日	カラオケクラブ
5月17日	音楽療法	11月6日	弥栄中学校神楽訪問
5月23日	スポーツクラブ	11月9日	特別メニュー
5月26日	気分転館	11月14日	こけぼけクラブ
5月31日	介護予防教室	11月15日	音楽療法
6月7日	お菓子作り(まき)	11月16日	スポーツクラブ
6月12日	カラオケクラブ	11月23日	気分転館
6月15日	こけぼけクラブ	11月24日	輪投げ大会
6月20日	スポーツクラブ	12月14日	こけぼけクラブ
6月21日	音楽療法	12月19日	スポーツクラブ
6月29日	気分転館	12月20日	クリスマス会、音楽療法
7月6日	カラオケクラブ	12月21日	気分転館
7月13日	スポーツクラブ	12月23日	年忘れ輪投げ大会
7月15日	特別メニューの日	12月28日	餅つき
7月20日	こけぼけクラブ	1月6日	新年会
7月25日	お取寄せ HAMADA	1月17日	音楽療法
7月28日	気分転館	1月18日	スポーツクラブ
8月3日	カラオケクラブ	1月20日	こけぼけクラブ
8月4日	こけぼけクラブ	1月23日	気分転館
8月9日	お菓子作り(団子)	1月25日	輪投げ大会
9月6日	生け花クラブ	2月15日	気分転館
9月8日	こけぼけクラブ	2月16日	輪投げ大会
9月8、15、16日	ふるさと訪問	2月21日	音楽療法
9月14日	カラオケクラブ	2月27日	お取寄せ HAMADA
9月20日	音楽療法	3月8日	お菓子作り
9月21日	気分転館	3月9日	カラオケクラブ
9月28日	スポーツクラブ	3月22日	スポーツクラブ
		3月24日	音楽療法
		3月30日	気分転館

12 職場内研修状況

開催月	研修テーマ	講師等	参加人数
4月	感染教育 震災訓練	家 戸	17
		田 中美	13
5月	防犯訓練 介護技術（スライドボード、スライドシートの 使い方） 土砂災害訓練、炊き出し訓練	田 中美	19
		三 浦孝	13
		田 中美、三 浦美	15
6月	消防訓練	坂 本	16
		小笠原詞	16
		田 中美	20
7月	手洗い	三 浦美	11
8月	新型コロナウイルス感染対応にて実施できず		
9月	震災訓練 後見人制度について	田 中美	11
		坂 本	9
10月	消防訓練 メニューについて	浜田消防	13
		小笠原沙	12
11月	感染教育 土砂災害訓練 防犯訓練	家 戸	16
		田 中美	12
		浜田警察	19
12月	高齢者施設の役割 高齢者虐待・身体拘束・抑制について	石 津	10
		山 崎	9
1月	高齢者虐待について	櫻 田	回覧
2月	看取り・緩和ケアについて	小笠原詞	8
3月	マニュアルの見直し	介護安全対策委員会	12

13 職場外研修の状況

開催日	主催	研修・会議名	参加者	開催地
7月24日～ 12月25日	株式会社グローバ ル	介護職員初任者研修	杉 本	浜田
4月19日 5月17日 6月21日 10月20日 11月15日 1月17日	石見後見センター	石見後見センター定例会	坂 本	浜田
6月21日	浜田市消防本部	普通救命講習 I	小笠原沙	浜田
10月28日	弥栄のみらい創造 会議	認知症サポーター研修	三 浦美 山 崎定	弥栄

14 施設、整備関係

- ・ スチームコンベクションオープン購入

15 地域貢献等

- ・ 長安地区空き缶・ゴミ拾い (7/29)
- ・ 春、秋の交通安全街頭指導
- ・ 子供110番指定施設
- ・ まちかど救急施設
- ・ どんちっちSOSネットワーク事業への参加
- ・ 地域ケア会議への参加
- ・ 「弥栄診療所周辺環境整備をしよう会」に参加し、草刈り実施 (4/29、6/12、7/31、9/11)
- ・ 浜田医療センター附属看護学校の実習受け入れ (4/18～3/6)
- ・ 島根大学医学部学生の見学受け入れ

指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑 本館

【経 営】

項目	目 標	実 績	到達度
収 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の入所稼働率 98% を目指す。 ・ 疾病の早期発見・治療により長期の入院日数を短縮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所稼働率 98.3% ・ 昨年度より入院日数を 48 日短縮できたが、12 月にコロナ感染症のクラスターが発生し、感染性廃棄物の処理費用が膨らみ経営に大きく影響した。 * これについては、必要な体制を確保した上で施設内療養を行う高齢者施設等へ対する支援制度の補助金の交付を受けた。 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所定員： 30 床 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院による空床日数は 113 日、入退所による空床日数は 70 日(入退所 9 人) 	
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害への対応力強化のため、非常用電源設備を設置する。 ・ LIFE (科学的介護情報システム) の活用を進める。 ・ 記録の電子入力を検討する。(看護) ・ 入所者の口腔衛生管理と嚥下機能の維持のため、職員研修を行う ・ 経費削減にむけて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を申請し、交付されたので計画通り設置した。 ・ 介護支援専門員、栄養士が順次入力を進めた。 ・ 6 月より電子入力を開始し、業務の効率化を図ることができた。 ・ 計画通り実施でき、研修結果については、各棟でまとめ回覧した。 ・ 電気の使用量は弥栄苑全体で、昨年度より、1 年間に 19,200 キロワット (1,600 キロワット/月)) 削減できた。 しかし、電気料が値上りし、費用面での成果が現れなかった。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1. 食事	<ul style="list-style-type: none"> 入所者個々の栄養ケア・マネジメントを行い、状態にあった食事を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定、活動係数により栄養計算を実施し、身体状態を確認しながら栄養面での体調管理に努めた。 また、各入所者に適した食事形態と嗜好による代替え等の支援を行った。 	A
2. 排泄	<ul style="list-style-type: none"> 身体能力に応じた排泄を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 状態の変化に伴い、各職種と検討し支援した。 	A
3. 入浴	<ul style="list-style-type: none"> 身体の清潔保持のため快適な入浴を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体調をみながら入浴日の変更や入浴形態の見直しをした。 	A
4. 機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下機能の維持と日常生活での動作訓練を行う。 楽しみ、意欲を持ちながら訓練する場を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医師やリハビリカレッジの講師の指導を受け、入所者の口腔管理に取り組んだ。 棟で計画した活動(ラジオ体操・ボール遊び等)で声を出す、手を挙げる活動の場を提供した。 	A A
5. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 入所者の既往歴、服薬情報等を嘱託医等と共有し、日々の健康管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施した。 既往歴や服薬情報は電子入力を進め、各職種間の情報共有に努めた。 嘱託医と連携して、相談や家族への病状説明も効率よく行った。 	A
6. 相談及び援助	<ol style="list-style-type: none"> 入所者の心身の状況、適切な生活環境の把握。 入所者、家族に常時必要な相談及び援助を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 連絡ノートを活用し、各職種で共有し改善に努めた。 各職種で情報を共有し必要な援助を行った。 	A
7. 社会生活上の便宜の提供	<ol style="list-style-type: none"> 入所者が充実した日常生活を送ることへの支援。 入所者と家族との連携及び入所者とその家族との交流支援。 	<ol style="list-style-type: none"> 入所者の声を聴く「ふれあいタイム」を開催し、行事や日中の活動を支援した。 新型コロナウイルスの感染状況をみながら、面会や電話での交流支援を行った。また、面会等でタブ 	A

	<ul style="list-style-type: none"> ③ 入所者の外出の機会を確保。 ④ 入所者が必要とする、証明等の交付申請などの代行。 	<p>レットを活用し入所者の日々の様子を動画で見ていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ コロナ禍で外出は、苑外散歩が中心であったが、3月には車で花見に出かけることができた。 ④ 入所者、家族からの依頼を受け、申請などを代行した。 	
8. 苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設に対する意見等に真摯に対応し改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情0件 家族からの相談については、受付表に記載して職員へ周知し、要望に応えるように努めた。 	A
9. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故発生防止のための危険予知訓練を行う。 ・ 事故が発生した場合の、分析を通じた改善策の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険予知活動等を計画通り実施した。 ・ 事故が発生した場合は、その都度改善策を検討・決定し職員へ周知し、また、半期毎に集計・分析を行い、改善策等について再度検討し事故予防に努めた。 	A
10. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症や災害への対応力を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月に、コロナが発症した施設を訪問し、対応した状況などについて確認し、職員に報告した。 12月には、発生時の対応をイメージできるよう動画を視聴した。 ・ 12月13日から1月4日まで、施設でクラスターが発生し、イメージした対応では不十分で、保健所の指導で対応ができた。 	C
11. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が地域に開かれたものとして運営できるよう、地域との繋がりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弥栄みらい創造会議の事務局を招いて『弥栄のまちづくり計画』の説明を受け理解を深めた。 ・ 浜田地区広域行政組合が実施する介護相談員の派遣は、ZOOMや電話で対応し意見をいただいた。 	A

【人材育成】

1 施設内研修、施設外研修についての詳細は、報告資料 13 に記載

2 目標面接

対象	実施期間	到達度
全職員	6月～7月 / 1月～3月	A

* 一部を除き計画どおり実施できた。

3 能力評価

対象	実施期間	到達度
全職員	1月～2月	A

【その他】

1 会議・委員会の開催（弥栄苑新館との共通開催）

(1) 会議

名称	所掌事項等	実績	到達度
主副者会議	施設運営、職員の内部異動、処遇改善、職員研修、職場環境の改善に関する事、その他、入所(居)者の処遇改善に関する事 新型の感染症のリスクについて検討する。	・ 不定期であるが、理事会・管理者会議等の前後に開催、情報共有を行った。	A
リーダー会議	各棟の取組や問題点の検討、各棟間の情報交換、施設全体のサービスの均等化、各委員会の取組み状況の把握、その他、入所(居)者の処遇改善に関する事 新型の感染症の対応について検討する。	・ 棟会議・委員会活動の情報共有や職員研修、職場の環境改善、入所(居)者の処遇改善、感染症の対応について協議・検討した。 (11回/年)	A
棟会議	棟の目標設定と反省、入所(居)者の処遇に関する事項(QOL向上に向けた意見交換とケアの統一)、その他、棟運営に関する事	・ 入所(居)者の処遇改善、委員会の研修、棟の業務改善、翌月の行事等の連絡、感染症の対応について協議した。 (11回/年)	A
サービス担当者会議	施設サービス計画書の評価と新プランの作成など、施設サービス計画に関する事	・ 提供したサービスの評価と、家族・入所(居)者の意向を施設サービス計画書に反映しサービスを提供した。	A

看護職員会議	入所(居)者の健康管理について情報共有する。	・ 毎月開催した。	A
全体会議	処遇、サービスの改善に関すること、職場環境の改善に関すること(意見交換)、緊急に徹底する必要がある場合(苦情、事故発生時等)、その他、全体で協議を行うことが必要な場合	・ 主にコロナ感染症の対応を周知するため、全体会議を開催した。(5回/年)	A

(2) 委員会

名称	所掌事項	実績	到達度
安全委員会	① 指針・マニュアル、事故報告書等の整備 ② 事故報告書・ヒヤリハット報告書の分析及び改善策の検討 ③ 改善策の周知徹底について ④ 入所(居)者及び職員の安全対策について ⑤ 職員の安全衛生対策について ⑥ 苦情処理及び紛争対策について	① 整備し各棟に配布した。 ② 9月と3月に実施した。 ③ 委員会や棟会議により周知をした。 ④ 危険予知活動や物品の安全点検を定期的実施した。 ⑤ 安全衛生委員会から報告を受け、腰痛予防やメンタルヘルスチェックを実施した。 ⑥ 介護事故による損害賠償の事例から、家族との信頼関係の大切さを学んだ。	A
感染症対策委員会	① 指針マニュアルの見直し・整備 ② 感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討(訓練(シミュレーション)の内容等) ③ 感染症物品の整備	① 委員会を年4回実施 ② コロナ感染症の対応がイメージできるよう動画研修とガウンテクニックを実施した。 ③ ある程度の感染予防対策物品は準備できていたが、その他に使用するナイロン袋、紙コップ、消毒容器が予想以上に必要であった。	A
サービス向上検討委員会	① 身体拘束の廃止に関すること ② 虐待防止に関すること	① 3ヵ月ごとに、委員会を開催して研修を計画し、実施した。 ② 委員会や研修を計画通り実施した。	A

	<p>③ サービスの質の向上に関する こと</p> <p>④ 安全・快適な職場環境づくりに 関すること</p> <p>⑤ 職員研修に関すること</p> <p>⑥ 身体拘束等適正化・虐待防止の 会議の開催</p>	<p>③ 身体拘束と介護技術 研修を合同で実施。 『科学的根拠に基づいた 食事介助方法を理解す る。』に取り組んだ。</p> <p>④ 職員アンケートを行 い、委員会で検討し職 場環境の改善に努め た。</p> <p>⑤⑥ サービス向上委員 会の中で計画し実施し た。</p>	
入所(居)検討委 員会	<p>① 入所(居)決定の審議に関する こと</p> <p>② 入所(居)待機者順位名簿の調 整と入所(居)決定に関すること</p> <p>③ その他、入所(居)検討上必要 な事項</p>	<p>・ 1回開催。</p>	

(3) 他事業所と共催

名 称	目的等	開催	到達度
給食委員会	入所(居)者・利用者に最適な食事を提供するための協議	・ 毎月1回開催した。	A
防火管理委員会	施設の防火管理業務の適正な運営を図ること	・ 6月と10月に開催し 防災について協議した。	A
環境美化委員会	施設内外の環境の保全と美化を推進すること	・ 棟内の環境保全・美化活動を計画し実施した。	A
広報編集委員会	広報紙「ひだまり」の編集	・ 広報紙を6月、11月、2月に発行した。	A
看護職員会議	各事業所利用者の情報交換、資質向上のための疾病等の勉強会、職員の健康・衛生管理、特にメンタルヘルス対策の充実、その他、看護職として必要な事項の協議	・ 各事業所との情報交換の開催はなし。	—
管理者会議	円滑な事業運営を行う為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	・ 1回/1ヶ月開催	A
役職者研修	組織及び役職者としての役割の理解と実践 自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける	・ 1回/1ヶ月開催	A

【報告資料】

1 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
入所者	1	0	2	2	0	1	0	0	1	0	1	1	9	
退所者	1	1	2	1	0	1	0	1	0	0	1	1	9	
入院者	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	
退院者	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	5	
延 入 数	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度3	120	124	120	151	155	150	155	150	155	155	113	124	1,672
	介護度4	422	465	449	434	465	385	341	346	397	372	336	365	4,777
	介護度5	330	315	318	329	310	360	409	385	372	403	370	417	4,318
延べ人数計	872	904	887	914	930	895	905	881	924	930	819	906	10,767	
1日当り人数	29.1	29.2	29.6	29.5	30	29.8	29.2	29.4	29.8	30.0	29.3	29.2	29.3	
入所率(%)	96.9	97.2	98.6	98.3	100	99.4	97.3	97.9	99.4	100.0	97.5	97.4	98.3	
平均介護度	4.24	4.21	4.22	4.19	4.16	4.23	4.28	4.26	4.23	4.26	4.31	4.32	4.24	
平均在所年	3.16	3.16	2.83	2.83	2.91	2.91	3	3.08	3	3.08	3.16	3.08	3.01	

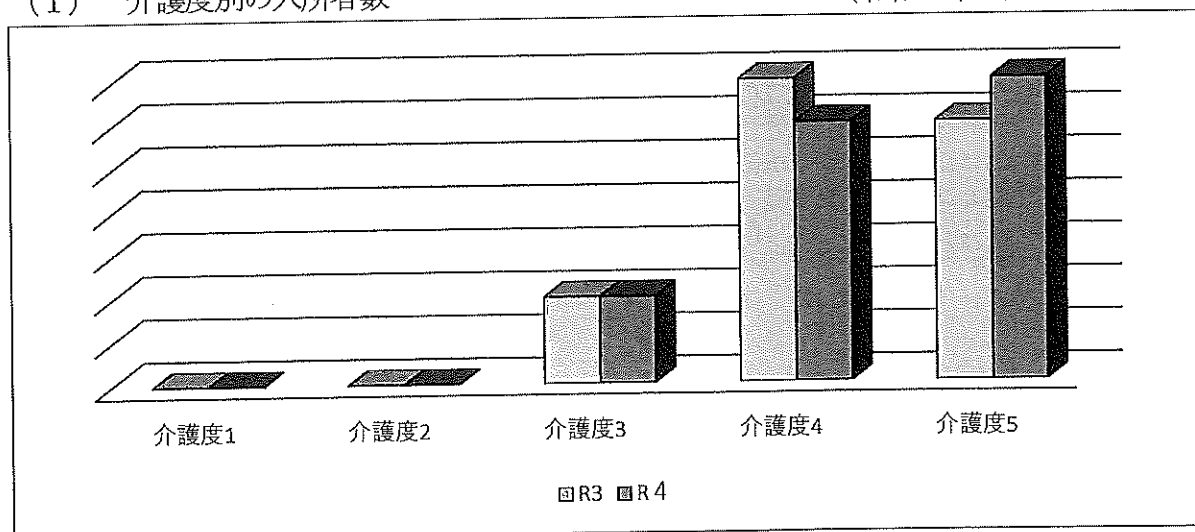
※ 入院者は月をまたいで継続している入院を含む。

2 介護度別の月末入所者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護3	R 3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
	R 4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4
要介護4	R 3	15	15	14	14	12	12	12	12	12	11	11	14
	R 4	15	15	15	14	14	13	11	12	12	12	12	12
要介護5	R 3	13	12	13	13	15	15	15	15	15	16	14	12
	R 4	11	10	10	11	11	12	14	13	13	13	14	14

(1) 介護度別の入所者数

(令和5年3月31日時点)



3 入所者のADL（日常生活動作）の状況

(令和5年3月31日現在)

区分			にじ		たいよう		合計			
			男	女	男	女	男	女	計	
移動	自立歩行		0	1	0	0	0	1	1	
	杖、歩行器使用		0	0	0	1	0	1	1	
	車椅子使用(自操)		0	2	0	2	0	4	4	
	車椅子使用(他操)		3	6	0	8	3	14	17	
	リクライニング使用		1	1	0	5	1	6	7	
食事	自立		0	5	0	3	0	8	8	
	一部介助		2	3	0	5	2	8	10	
	全介助		2	2	0	7	2	9	11	
	胃ろう		0	0	0	1	0	1	1	
入浴	自立		0	0	0	0	0	0	0	
	一部介助		0	2	0	4	0	6	6	
	全介助		4	8	0	12	4	20	24	
着脱	自立		0	0	0	0	0	0	0	
	一部介助		2	3	0	6	2	9	11	
	全介助		2	7	0	10	2	17	19	
排泄	昼間	便所	自立	0	1	0	0	0	1	1
			一部介助	1	2	0	3	1	5	6
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自立	0	1	0	0	0	1	1
			一部介助	0	0	0	0	0	0	0
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
	おむつ		全介助	3	6	0	13	3	19	22
	夜間	便所	自立	0	1	0	0	0	1	1
			一部介助	0	0	0	0	0	0	0
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自立	0	0	0	1	0	1	1
			一部介助	0	1	0	1	0	2	2
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
		おむつ		全介助	4	8	0	14	4	22
バルーン留置			0	1	0	2	0	3	3	

4 認知症高齢者の日常生活自立度

(令和5年3月31日現在)

I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
0	2	2	12	3	9	2	30

5 入所者の入所前及び退所の理由の状況

単位：人

	入所前						退所理由				
	在宅	病院	老健	養護	その他施設	合計	在宅	病院(死亡)	死亡	その他施設	合計
男性	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
女性	1	0	5	1	0	7	0	0	9	0	9
合計	2	1	5	1	0	9	0	0	9	0	9

6 年齢階層別入所者状況 (令和5年3月31日現在)

単位：人、歳

	65~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	100歳以上	計	年齢		平均年齢
							最高年齢	最低年齢	
男性	0	1	2	1	0	4	91	75	84
女性	0	2	10	12	2	26	102	74	90.7
合計	0	3	12	13	2	30			89.8

7 在所期間の状況 (令和5年3月31日現在)

単位：人

	0~1年	1~3年	3~5年	5~10年	10~15年	15年以上	平均在所期間	最長在所期間	最短在所期間
男性	2	9	0	0	0	0	9月	1年1月	3月
女性	7	2	3	5	1	1	3年5月	16年7月	0
合計	9	11	3	5	1	1	3年1月		

※ 男女合計30人の平均在所期間は3年1月、1年未満の入所者は9名で全体の30%を占める。

8 行事等の実施状況

(1) 地域行事 (新館と共通)

前年度と同様に、新型コロナウイルスの影響で、入所(居)者が地域へ出て交流する機会はなかったが、職員1名が弥栄中学校での島根県へき地教育研究事業に参加した。

毎年9月の敬老月間に行われる三隅・弥栄地区民生児童委員協議会の友愛訪問は、今年度もお祝い品を預かり関係の入所(居)者の皆さんの様子を伝えた。

月 日	内 容	参加者数		備考
		対象者	家族、地域 その他	
9月7日	三隅地区民生児童委員協議会友愛訪問	本館 5名 新館 2名	民生児童委員 3名	玄関でお祝い品を受取り
9月12日	弥栄地区民生児童委員協議会友愛訪問	本館 14名 新館 9名	民生児童委員 3名	玄関でお祝い品を受取り
10月26日	弥栄中学2年生の総合的学習に参加 (中学校での開催)	中学生 6名	地域(苑)5名 を含む	弥栄の魅力を発信しよう

(2) 本館行事

月	にじ棟		たいよう棟	
	内 容	人 数	内 容	人 数
4月	花見会	8名	中庭散歩	4名
	外気浴	6名 ショート1名	花見会	8名
	ふれあいタイム	14名	苑外散歩(花見)	4名
	茶話会	14名		
	塗り絵	1名 ショート1名	外気浴	1名
	生け花	2名		
	ジャガイモの芽かき	1名 ショート1名		
5月	ナイロン紐結び	1名	つつじを見に行く	6名
	夏野菜を植える	3名 ショート1名	ふれあいタイム	5名
	つつじ見物	2名	フルーチェ作り	5名
	百歳のお祝い	1名	家族と電話	1名
6月	あじさいを見に行く	2名	あじさいを見に行く	6名
	七夕飾り	5名	頭の体操	
	ふれあいタイム	13名	ふれあいタイム	13名
	お椀でラーメンを食べよう	13名	茶話会	13名 ショート3名
	芋ほり	3名 ショート1名		
	塗り絵	1名		
	きゅうりの収穫	6名		
7月	七夕の飾りつけ	5名	七夕の飾りつけ	7名
	七夕片づけ	2名		
	スカイを食べる	12名 ショート1名		
	誕生祝い	1名		
8月	ふれあいタイム	13名 ショート1名		
	茶話会	14名 ショート1名		
	クッキング(カレー)	14名		
9月	敬老会	11名 ショート1名	敬老会	13名 ショート3名
	花火をしよう	5名	ふれあいタイム	13名
	ペーパーフラワー作り	3名		
	甘酒とジュースで乾杯	13名		

10月	本館運動会	12名	本館運動会	16名 ショート2名
	塗り絵・花壇に草抜き	1名		
	日光浴	6名		
	さつま芋を見て	12名		
	ふれあいタイム	10名		
11月	焼き芋を食べよう	13名 ショート2名	ふれあいタイム	7名
12月	ケーキを食べる	14名 ショート1名	クリスマス会	16名 ショート1名
1月	書初め	6名	ふれあいタイム	7名
	ふれあいタイム	4名		
2月	恵方巻の代わりにロールケーキを食べる	9名 ショート1名		
	豆まき	9名		
	ふれあいタイム	12名		
3月	ひな祭り	13名	ふれあいタイム	8名
	苑外散歩	5名	苑外散歩	3名
	木蓮を見に	9名 ショート1名	木蓮を見に	2名
	町内の桜を見に	3名	町内の桜を見に	3名
			苑外桜見	3名

(3) 家族と食事会(誕生月)

入所者の誕生月に家族を招いて行う食事会は、新型コロナウイルスの影響で開催しなかった。

各棟で、誕生日のお祝いを行った。

(4) バイキング・行事食実施状況 (弥栄苑新館と共通開催)

バイキングの状況		行事食の状況	
5月	甘味処バイキング	4月	節句 : ばら寿司、桜餅
11月	パンバイキング		花まつり : さくらご飯、道明寺
※ 5月、11月は、バイキングを実施できたが、他の月は、市内の新型コロナウイルス感染症の発生状況から、バイキング形式での提供は中止した。		5月	端午の節句 : 筍ご飯
		6月	泥落とし : ほうのきむすび、まき
		7月	七夕 : そうめん
			丑の日 : 鰻井七夕 : そうめん
		8月	お盆 : ひつまぶし、焼きなす、鯛そうめん、団子
			ラーメンの日 : チキンラーメン、マンゴー
		9月	敬老の日 : 赤飯、紅白饅頭
敬老会 : ばら寿司、祝い饅頭			

	10月	ハロウィン：チキンライス、かぼちゃプリン
	12月	クリスマス：クリスマスケーキ、ピラフ 若鶏の煮込み、刺身、ばら寿司
		大晦日：年越しそば、くじらご飯
	1月	お正月：赤飯、おせち
		七草：七草粥
		鏡開き：白玉ぜんざい、ばら寿司
		小正月：小豆粥、練り切り
	2月	節分：巻き寿司、そば、くじらご飯
	3月	ひなまつり：ばら寿司、お饅頭
		彼岸：おはぎ

(5) ボランティア受け入れ状況 (弥栄苑新館と共通事項)

訪問日	個人・団体名	内容	備考
6月17日	三浦召後 様	草刈り	
10月16日	三浦召後 様	草刈り	
12月26日	三浦召後 様 三浦勝美 様	門松設置	
1月4日	三浦召後 様 三浦勝美 様	門松片付け	

9 嗜好調査

(1) 共通事項 (自分で答えられる方)

① 食事の内容はどうか

	にじ棟	たいよう棟
	10/14人	10/16人
ア. だいたい良い	5	8
イ. まあまあ	5	1
ウ. 良くない	0	1

② 食事の味付けはどうか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	9	7
イ. 濃い	0	0
ウ. 薄い	1	3

③ 食事量はどうか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	6	7
イ. ちよつと多い	4	2
ウ. 少ない	0	1

④ おかずは食べやすい大きさですか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	9	10
イ. 大きい	1	0
ウ. 小さい	0	0

⑤ 一番、好きなものはなんですか

チキンラーメン	玉子・半熟玉子 (2名)	肉	甘い物 (2名)	寿司(ちらしにぎり)(2名)
酢の物 2名	大根・人参の煮しめ	かぼちゃ・芋類	天ぷら	何でも食べる (4名)

⑥ 嫌いな食べものはなんですか

嫌いな物はない (10名)	野菜	甘い物	肉
にがい物	キムチ	辛いもの (2名)	

⑦ 食事のことで、感じておられることはなんですか

にじ棟	<ul style="list-style-type: none"> ・別がない ・全部が薄味、食べにくい。 ・なんでもおいしい物を出してもらえるから助かる。 ・食べられることはえーことだ。 ・きざみだから、献立みてもわからない。 ・特になし (3名) 回答なし (2名)
たいよう棟	<ul style="list-style-type: none"> ・なにもない。 ・おいしゅうない。 ・とんかつを食べに行きたい。 ・選んでもだめだろう。 ・特になし (6名)

(2) 共通項目 (自分で答えられない方)

① 食べやすい・飲み込みが良い料理はどんな料理ですか

<にじ棟>

デザート類	ツルっとした物	特になし
-------	---------	------

<たいよう棟>

甘い物は口が開きや飲み込みが良い	デザートや甘い物	味がしっかりしている物
------------------	----------	-------------

② 食べにくい・飲み込みが悪い料理はどんな料理ですか

にじ棟	<ul style="list-style-type: none"> ・角のある芋など口当たりが悪い物 ・主食 ・特になし
-----	--

たいよう棟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固い物 ・ 酢の物 ・ 本人の状態により変わるためわからない ・ 体調によって口の開きが悪い (料理ではない) ・ 酸味が強い・つぶが残っている物
-------	---

③食事のことで、感じておられることがありますか

にじ棟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甘い物以外、これといって好き嫌いがないように思う。 ・ その時の気分で食べたり、食べなかったり
たいよう棟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶碗蒸しの固さが気になる。もう少しやわらかいと良い。 ・ ミキサー食のつぶがあると、ムセやすい。 ・ 酢の物がきついことがあります、ムセやすい ・ 揚げ、がんもどきはミキサーにしてもムセやすいと感じる。

10 お楽しみ調査

	にじ棟 14/14名		たいよう棟 16/16名		全体 30/30名	
	自分で答えられる方 12名	自分で答えられない方 2名	自分で答えられる方 10名	自分で答えられない方 6名	自分で答えられる方 22名	自分で答えられない方 8名
家族、親戚の面会	11	0	8	2	19	2
食べること (食事・おやつ)	10	1	8	3	18	4
職員と棟の利用者で料理をすること	0	0	2	0	2	0
お風呂に入ること	5	0	6	2	11	2
外出(散歩等)	7	1	7	3	14	4
趣味活動/折り紙、貼り絵・体操・歌・カラオケ	3	1	5	0	8	1
弥栄苑の売店での買い物	0	0	1	0	1	0
グループで活動すること、ふれあいタイム	0	1	3	0	3	1
職員・仲間等とおしゃべりをする事	7	1	7	3	14	4
新聞	0	0	0	0	0	0
未実施(入院)	0	0	0	0	0	0

※ 調査の結果は、行事に反映させた。

11 入院状況

(1) 月別入院状況 (人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R3	1	2	1	3	3	0	0	0	1	1	1	0	12	1人
R4	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	0.5人

※ 入院理由： 右脳内出血1名、左足血流障害と褥瘡1名 脳梗塞1名

(2) 月別入院状況 (日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R3	7	24	10	31	51	0	0	0	14	12	2	0	151	12.5日
R4	18	22	0	0	0	0	25	14	0	0	17	17	113	9.4日

(3) 夜間 (待機看護職員) の呼び出し件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1	1	6

※ 内容は、看取り5件、発熱1件

(4) 看取りの状況 退所者9名のうち8名の看取りを行った。

12 ヒヤリハット・事業報告書

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
にじ	2	2	2	2	0	0	0	1	1	1	1	0	12
たいよう	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	4	2	3	2	1	0	0	1	1	1	1	0	16

※ ヒヤリハットの16件中、7件が転倒の危険と3件がずり落ちの危険であった。ベッド下に衝撃吸収マットを敷き対応した。

(2) 種類別事故発生件数 (前年度と比較)

		転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	誤嚥誤飲	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しもも	内出血	その他	合計
R3	にじ	2	5	5	0	3	2	0	2	3	0	0	1	2	2	3	30
	たいよう	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	2	0	4	1	12
R4	にじ	0	3	1	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	4	5	19
	たいよう	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4	1	10

※ にじ棟の転落事故3件の内2件は、要介護3で自室のPトイレに座り損ねる事故。

※ 浜田地区広域行政組合に報告した事故は4件。義歯を洗浄中に割れる事故や、Pトイレに移乗した際、麻痺側の手を敷き込み内出血した事故等。

13 研修

(1) 職場内研修 (本館・新館共通開催)

開催日	委員会	内容	講師	実績(参加者数)
4月7日 4月11日	安全委員会 サービス向上検討委員会	・感染症まん延防止について① ・身体拘束等適正化について① ・高齢者虐待防止について①	岩田真美恵 岩田真美恵	16名 11名 11名
5月1日 5月26日	安全委員会 サービス向上検討委員会	・食中毒及びまん延防止研修 ・危険予知トレーニング ・摂食嚥下について	各棟安全委員 本館の委員 平川智恵子言語 聴覚士	47名 37名 本館 9名 新館 13名 その他 4名
6月16日 20日、24日 6月16日 6月24日	安全委員会 サービス向上検討委員会	・感染症対応研修 (コロナ) 〃 ・口腔衛生管理研修 ・消防訓練 (日中想定)	岩田真美恵 田中歯科医師 岩田真美恵	48名 本館 11名 新館 11名 その他 7名 本館 7名 新館 10名 その他 8名
7月6日 7月11日 7月12日 7月19日 〃 7月20日 7月23日 7月31日	安全委員会 サービス向上検討委員会 全体会議 安全委員会 〃 サービス向上検討委員会 安全委員会 安全委員会 (緊急) 安全委員会 (緊急)	・感染症対策委員会開催② ・危険予知トレーニング ・身体拘束等適正化委員会② 見守りセンサーについて ・みらい創造会議について ・緊急時対応訓練 (新館) ・身体拘束について ・緊急時対応訓練 (本館) ・新型コロナウイルス対応につ いて ・新型コロナウイルス対応につ いて	岩田真美恵 三浦 裕子 山村 千秋 岩田真美恵 細川 良彦 後野 容子他 和田めぐみ 佐々木真也 岩田真美恵 岩田真美恵	15名 39名 13名 7名 12名 12名 12名 本館 4名 新館 4名 その他 4名 本館 6名 新館 5名 その他 1名
8月10日 8月18日 8月23日 8月25日	安全委員会 (緊急) サービス向上検討委員会 サービス向上検討委員会 全体会議	・新型コロナウイルス対応につ いて ・摂食嚥下 (食事介助方法) ・高齢者虐待研修 (本館) ・みらい創造会議について	岩田真美恵 平川智恵子言語 聴覚士 三澤 興平 谷口芽生恵 細川 良彦	本館 5名 新館 4名 その他 7名 本館 5名 新館 13名 その他 6名 15名 17名
9月5日 9月7日	安全委員会 サービス向上検討委員会	・感染症対策委員会開催③ コロナウイルスの対応につ いて ・腰痛予防研修 集計結果を各棟で分析 危険予知トレーニング ・高齢者虐待防止について②	岩田真美恵 研修委員 三澤 香織 徳田 康則 岩田真美恵	16名 本館 13名 新館 21名 その他 6名 39名 9名

9月22日	サービス向上検討委員会	・高齢者虐待研修(新館)	盆子原美希 奥本 雅次	15名
10月6日	サービス向上検討委員会	・摂食嚥下(トロミ剤について)	平川智恵子言語 聴覚士	本館 8名 新館 10名 その他 3名
10月7日	サービス向上検討委員会	・身体拘束等適正化委員会③ 不適切なケアについて集計 結果 *9月の虐待研修の集計から	岩田真美恵	12名
11月24日	防火管理委員会	・消防訓練	岩田真美恵	本館 7名 新館 7名 その他 4名
11月29日	新館会議	・介護技術(スライドボードの 使用法)	湯田 誠人	新館 15名
12月1日	サービス向上検討委員会	・口腔ケア(誤嚥性肺炎予防) 研修発表大会	研修委員	本館 6名 新館 11名 その他 3名
12月7日	安全委員会	・高齢者施設でのコロナ(疑い) 発症時の対応とガウンテクニ ック(動画視聴)	山崎 淳広	本館 11名 新館 8名 その他 3名
1月12日	リーダー会議	・コロナ感染症の振り返りと 今後の対応について	岩田真美恵	各棟 16名
1月25日	本館・新館会議	・感染症の振り返りから(1/12) 初動対応について	岩田真美恵	本館 5名 新館 14名
2月2日	安全委員会	・感染症対策委員会開催④ コロナ初動対応について	山崎 淳広	委員 16名
2月9日	サービス向上検討委員会	・身体拘束適正化委員会④	岩田真美恵	委員 8名
2月16日	サービス向上検討委員会	高齢者虐待委員会 ・口腔衛生管理研修	岩田真美恵 田中歯科医師	委員 8名 本館 5名 新館 10名 その他 6名

(2) 職場外研修の実施状況 (弥栄苑新館と共通)

開催日	研修会名	研修主催 団体名	場所	参加者	研修の 報告方法
5月19日～ 11月18日	介護福祉士実務者研修	株式会社グロー ーバル	浜田市	松並 弘明	(第一種研修) 復命なし
7月13日～ 11月29日	認知症介護実践リーダー研修	島根県	出雲市	椎木 基之	(第一種研修) 復命なし
8月17日	浜田市栄養士役員総会	浜田市栄養士 会	浜田市	市木千代子	復命
8月17日	BCP策定推進セミナー	島根県社会福 祉法人経営者 協議会	弥栄苑	岩田真美恵	復命
9月10日～ 12月21日	主任介護支援専門員研修	島根県	浜田市	岩田真由美	(第一種研修) 復命なし
10月24日～ 12月9日	介護支援専門員研修 専門課程Ⅱ	島根県	浜田市	岩田真由美 山崎 淳広	復命
10月15日～ 3月18日	介護職員初任者研修	株式会社グロー ーバル	浜田市	湯田 誠人	(第一種研修) 復命なし
10月18日	災害対策補助金LPガス非常用電源 設備の説明・見学会	イワタニ島根	浜田市	廣瀬 賢和	復命

11月4日	福祉サービス苦情解決研修会 ZOOM	島根県運営適 正化委員会	弥栄苑	山崎 淳広	復命
11月6日	市民後見人講演会	島根県社会福 祉協議会	浜田市	山崎 淳広	復命
11月8日	施設ケアプラン研修会	浜田地区広域 行政組合	浜田市	岩田真由美 山崎 淳広 山崎美奈子 金高 宏美	研修会
11月17日	島根県老人福祉施設協議会研修発 表大会	島根県老人福 祉施設協議会	松江市	三浦 裕子 串崎 幹 三浦 淳子	復命
11月20日	弥栄地域 人権を考える集い	弥栄地域人 権・同和教育推 進協議会	弥栄町	廣瀬 賢和	復命
11月29日～ 12月2日	ユニットリーダー実地研修	島根県	米子市	三澤 興平	(第一種研修) 復命なし
12月1日～ 12月2日	ユニットリーダー研修 オンライン (LIVE)	島根県	弥栄苑	三澤 香織	(第一種研修) 復命なし
12月2日	新型コロナウイルス感染症に関す る研修会	浜田市健康医 療対策課	浜田市	岩田真美恵 牛尾 泉	復命
12月14日	令和4年度浜田結核研修会 ZOOM	浜田保健所	弥栄苑	山本 未美	復命
1月22日	令和4年度第2回栄養士研修会	浜田市栄養士 会	浜田市	市木千代子	復命
3月17日	高齢者虐待防止の取り組み ZOOM	島根県	弥栄苑	岩田真美恵 廣瀬 賢和 山崎 淳広	復命

(3) 本館研修

ア. 認知症について

開催日	内 容	講師	実績(参加者)
6月28日 7月20日	「パーソンセンタードケア」とは	三澤 興平 佐々木真也	8名
9月27日	「コミュニケーションの大切さ」動画視聴	三澤 興平	8名
2月20日	2回目の振り返りと「ユマニチュード」	三澤 興平 佐々木真也	7名

(4) 法人研修

(高齢者施設でのクラスターが多く発生し、開催を見送った。)

14 苦情・相談

(1) 苦情件数 0件

(2) 相談受付件数 (本館、新館共通)

項目	内容	件数
サービス要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面会の相談 (県外、県内) ・ 身元引受人以外の親族から写真を送ってほしい ・ 入居者から、妻に手紙を書く様に伝えてほしい ・ 家族にお願いする物品について 	20件
施設見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	0件
入所問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し込みの方で、状態の変化による情報提供 ・ 申し込みの方で、早期に入所したい ・ 空き状況の確認 など 	19件
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーカードについて ・ 配偶者の後見人から、意思確認できるか ・ 成年後見人の変更について ・ 入所者の知人からお寺のことについて など 	12件

15 設備の改修等

項目	内容
購入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常用電源設備の設置
修繕・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房エアコン1台更新、本館ホールの雨漏りの修繕 にじ棟排水管の洗浄、

Ⅲ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑 新館

【経 営】

項目	目 標	実 績	到達度
収 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の入居稼働率 97.5パーセントを目指す。 ・ 疾病の早期発見・治療により長期の入院日数を短縮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居稼働率 95.0% ・ 入院日数は198日で、9名(実人数)の入院があった。 昨年度より140日の増となった。 	C
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所定員： 40床 ・ ユニット型 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退居から入居までの空床534日(退居者17人) ・ 12月中旬から3週間、コロナ感染症のクラスターが発生し、その間の退居に随時対応できず、また、入居の決まった方や入院中の方が、コロナに感染し受け入れに日数を要した。 ・ その他、感染性廃棄物の処理費用が経営に大きく影響した。 * これについては、必要な体制を確保した上で施設内療養を行う高齢者施設等へ対する支援制度の補助金の交付を受けた。 	
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害への対応力強化のため、非常用電源設備を設置する。 ・ LIFE(科学的介護情報システム)の活用を進める。 ・ 記録の電子入力を検討する。(看護) ・ 入所者の口腔衛生管理と嚥下機能の維持のため、職員研修を行う ・ 経費削減にむけて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を申請し、交付されたので計画通り設置した。 ・ 介護支援専門員、栄養士が、順次入力を進めた。 ・ 6月より電子入力を開始した。 ・ 計画通り実施でき、研修結果については、各棟でまとめ回覧した。 ・ 電気の使用量は弥栄苑全体で、昨年度より、1年間に19,200キロワット(1,600キロワット/月)削減した。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

		減できた。 しかし、電気料の値上げで、費用面の成果は現れていない。	
--	--	--------------------------------------	--

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1. 食事	<ul style="list-style-type: none"> 入居者個々の栄養ケアマネジメントを行い、状態にあった食事を提供する。 入居者の意思を尊重しつつ、リビング等で交流しながら食事ができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定、活動係数により栄養計算を実施し、身体状態を確認しながら栄養面での体調管理に努めた。また、各入居者に適した、食事形態と嗜好による代替え等の支援を行った。 複数での集まりに対応できない入居者に対しては席等に配慮し、違うかたちで交流出来るよう支援した。 	A
2. 排泄	<ul style="list-style-type: none"> 個々に適した排泄を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に適した排泄方法、使用物品を随時検討し支援ができた。 	A
3. 入浴	<ul style="list-style-type: none"> 快適で安全な入浴を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に適した入浴方法を協議し提供した。 	A
4. 機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ユニット活動等を通じて、楽しみをもって活動ができるよう支援する。 嚥下機能の維持を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で外出行事は出来なかったが、日々の生活の中で支援した。 歯科医師やリハビリカレッジの講師の指導を受け、各棟で口腔管理に取り組んだ。 	A
5. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の既往歴、服薬情報等を嘱託医等と共有し、日々の健康管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 既往歴や服薬情報は電子入力を進め、各職種との情報共有に努めた。 嘱託医と連携して、相談や家族への病状説明も効率的に行った。 	A
6. 相談及び援助	① 入居者の心身の状況、適切な生活環境の把握	① 入居者の状態変化に気づけるよう、言葉や表情にも注視し、気づいた内容は、職員間で共有し対	A

	② 入居者、家族に常時必要な相談及び援助を行う。	<p>応じた。</p> <p>② 家族の面会時や電話等で相談があった場合、その都度対応し、入居者の相談については、入居者の意見を聴く「ふれあいタイム」で確認し、各職種で随時対応した。</p>	
7. 社会生活上の便宜の提供	<p>① 入居者が充実した日常生活を送ることへの支援</p> <p>② 入居者と家族との連携及び入居者とその家族との交流支援</p> <p>③ 入居者の外出の機会を確保</p> <p>④ 入居者が必要とする、証明等の交付申請などの代行</p>	<p>① アンケートにより個々の思いを確認し、ユニット活動を実施した。</p> <p>② コロナ禍のため、面会や毎月の「便り」の送付で様子を報告した。 特に体調の変化時は、こまめに家族と連絡をとり、状態がわかるように努めた。</p> <p>③ 散歩を中心に、外出の機会を持った。</p> <p>④ 入居者、家族からの依頼を受け、申請などを代行した。</p>	A
8. 苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> 施設に対する意見等に真摯に対応し改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情0件 ご家族のアンケートを実施し、出来る限り要望に応えた。 電話での相談等については、施設全体で取り組んだ。 	A
9. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生防止のための危険予知訓練を行う。 事故が発生した場合の分析を通じた改善策の周知徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険予知活動等を計画通り実施した。 事故が発生した場合は、その都度改善策を検討・決定して職員へ周知した。また、半期毎に集計・分析を行い、改善策等について再度検討し事故予防に努めたが、事故件数が昨年度より18件増加した。 入居後1年以内の入居者の事故対策が必要である。 	B

10. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や災害への対応力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に、コロナ感染症が発生した施設を訪問して対応した状況などについて確認し、職員に報告した。 12月に、発症時の対応方法がイメージできるよう動画視聴をした。 12月13日から1月4日まで、施設でクラスターが発生し、イメージした対応では不十分で、保健所の指導で対応できた。 	C
11. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 施設が地域に開かれたものとして運営できるよう、地域との繋がりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 弥栄のみらい創造会議の事務局を招いて『弥栄のまちづくり計画』について説明を受け理解を深めた。 浜田地区広域行政組合が実施する介護相談員の派遣は、電話やZOOMで対応をした。 	A

【人材育成】

1 施設内研修（本館・新館合同開催）

- (1) 職場外研修の実施状況 (弥栄苑本館と共通 本館の報告資料13 に記載)
 (2) 施設内研修の実施状況 (弥栄苑本館と共通 本館の報告資料13 に記載)

2 目標面接

対象	実施期間	到達度
全職員	6月～7月 / 1月～2月	A

※ 一部を除き計画どおり実施できた。

3 能力評価

対象	実施期間	到達度
全職員	1月～2月	A

【その他】

1 会議・委員会の開催

弥栄苑本館との共通開催（本館事業報告【その他】へ記載）

【報告資料】

1 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
入居者	1	3	2	1	0	1	1	0	1	3	3	2	18	
退居者	0	4	2	0	0	1	1	2	5	2	0	0	17	
入院者	1	2	1	2	1	0	1	2	1	2	2	1	16	
退院者	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	7	
延 人 数	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度3	401	427	443	465	465	381	379	344	353	339	372	4,743	
	介護度4	236	227	255	301	306	300	296	253	308	315	334	381	3,512
	介護度5	510	527	474	459	465	510	558	535	471	365	336	403	5,613
延べ人数計	1,147	1,181	1,172	1,225	1,236	1,191	1,233	1,162	1,123	1,033	1,009	1,156	13,868	
1日当り人数	38.2	38.1	39.1	39.5	39.9	39.7	39.8	38.7	36.2	33.3	36.0	37.3	38.0	
入居率(%)	95.6	95.2	97.7	98.8	99.7	99.3	99.4	96.8	90.6	83.3	90.1	93.2	95.0	
平均介護度	4.09	4.08	4.02	3.99	4.00	4.10	4.14	4.13	4.11	4.02	3.99	4.02	4.06	
平均在居年	2.66	2.66	2.58	2.58	2.66	2.66	2.66	2.66	2.66	2.50	2.41	2.33	2.58	

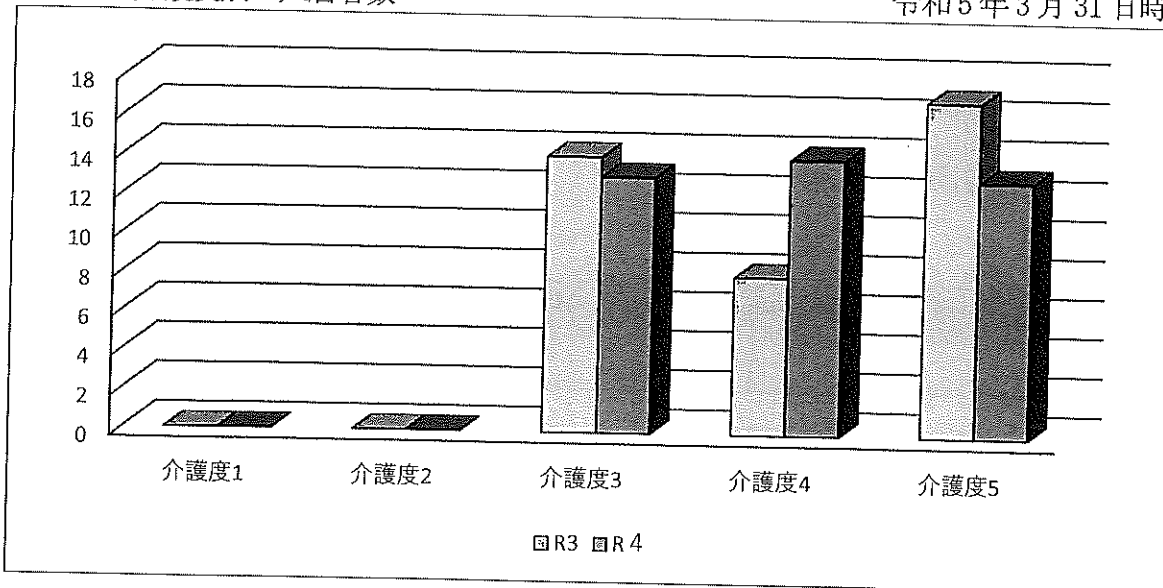
※ 4月時点で空床は1床。入院者は月をまたいで継続している入院を含む。

2 介護度別の月末入居者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護3	R3	11	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	14
	R4	14	15	15	15	15	13	13	13	11	12	13	13
要介護4	R3	9	7	7	7	7	8	9	9	9	9	10	8
	R4	9	7	9	10	10	10	9	9	10	13	13	14
要介護5	R3	19	21	21	20	20	20	19	19	19	19	17	17
	R4	17	17	15	15	15	17	18	18	13	11	12	13

(1) 介護度別の入居者数

令和5年3月31日時点



3 入居者のADL（日常生活動作）の状況

(令和5年3月31日現在)

区分		壹番館		貳番館		参番館		伍番館		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
移動	自立歩行	0	2	0	0	0	1	2	2	2	5	7		
	杖、歩行器使用	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2		
	車椅子使用(自操)	2	0	1	0	0	0	0	1	3	1	4		
	車椅子使用(他操)	1	5	1	3	0	4	0	1	2	13	15		
	リクライニング使用	0	0	1	3	1	3	1	3	3	9	12		
食事	自立	1	2	0	1	0	4	2	4	3	11	14		
	一部介助	2	3	2	1	0	5	1	1	5	10	15		
	全介助	0	2	1	5	1	1	0	2	2	10	12		
	胃ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入浴	自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一部介助	1	2	1	3	0	2	2	3	4	10	14		
	全介助	2	5	2	4	1	7	1	4	6	20	26		
着脱	自立	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	一部介助	1	2	0	2	0	4	3	5	4	13	17		
	全介助	2	4	3	5	1	5	0	2	6	16	22		
排泄	日間	便所	自立	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	3
			一部介助	1	1	0	0	0	3	2	2	3	6	9
			全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポータブル	自立	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
		一部介助	1	0	1	2	0	0	0	0	2	2	4	
		全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	おむつ	全介助	1	4	2	4	1	6	1	4	5	18	23	
	夜間	便所	自立	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2
			一部介助	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
			全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自立	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	3
			一部介助	1	0	0	2	0	1	0	1	1	4	5
			全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		おむつ	全介助	1	4	3	4	1	8	3	4	8	20	28
バルーン留置			1	0	1	2	0	0	1	0	3	2	5	

4 認知症高齢者の日常生活自立度状況

(令和5年3月31日現在)

I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
1	0	2	10	6	19	2	40

5 入居者の入居前及び退居理由の状況

単位：人

	入居前						退居理由				
	在宅	病院	老健	養護	その他	合計	在宅	病院(死亡)	死亡	他施設へ転居	合計
男性	0	2	2	0	0	4	0	0	2	1	3
女性	3	4	3	2	2	14	0	1	12	1	14
合計	3	6	5	2	2	18	0	1	14	2	17

6 年齢階層別入居者状況（令和5年3月31日現在）

単位：人、歳

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	100歳以上	計	年齢		平均年齢
							最高年齢	最低年齢	
男性	0	1	5	4	0	10	99	79	88.8
女性	0	2	10	18	0	30	98	75	89.7
合計	0	3	15	22	0	40			89.5

7 在居期間の状況（令和5年3月31日現在）

単位：人、年

	0～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年以上	平均在居期間	最長在居期間	最短在居期間
男性	4	5	0	0	0	0	1年8月	3年1月	1月
女性	13	6	5	7	0	0	1年7月	6年11月	0
合計	17	11	5	7	0	0	2年4月		

※ 男女合計40人の平均在居期間は2年4月、1年未満の入居者は17人で全体の42.5%を占める。

8 行事等の実施状況

(1) 地域行事（弥栄苑本館と同様）

(2) ユニット行事

（あらかじめ年間計画をたて実施した行事及び、日々の意見を聴き実施した行事）

月	壹番館		貳番館		参番館		伍番館	
	内容	人数	内容	人数	内容	人数	内容	人数
4月	花見会(お茶会)	10名	花見会(お茶会)	10名	花まつり	3名	カラオケ	10名
	花見	3名					野菜植え付け	1名
	ふれあいタイム	9名					クッキング たまご焼き	7名
5月			鯉のぼりと記念撮影	10名	豆腐を食べる	5名	リンゴ料理	7名
			つつじ見物	5名			外気浴	2名

			ふれあいタイム	9名			つつじ見物	2名
			苗植え付け	5名			カルタ取り	4名
6月			たこ焼き作り	10名	ふれあいタイム	5名	種まきと水やり	1名
			七夕願い事	5名			野菜の管理	3名
							クッキング 芋ほり	10名 2名
7月	七夕飾り作り	1名	ミニトマトの収穫祭	3名	七夕お願いごと	10名	七夕お願いごと	10名
	七夕会	5名	ゴーヤを食べる	5名	七夕作り	3名	七夕飾り作り 七夕飾りつけ	6名 4名
					七夕会(合同)	5名	七夕会(合同)	10名
							アイスを食べよう	10名
							ふれあいタイム	10名
8月	甘味処開店	9名	かぼちゃとなすを炊く	5名			盆団子を食べる	5名
9月	敬老会	10名	敬老会	10名	敬老会	10名	敬老会	10名
	壺・式合同おはぎ作り	10名	壺・式合同おはぎ作り	10名			収穫したジャガ芋調理	10名
	苑外散歩	3名	味噌ラーメンを食べる	1名				
			苑外散歩	2名				
			ふれあいタイム	10名				
			セミパブでお茶	1名				
10月	壺・式合同お寿司作り	4名	壺・式合同お寿司作り	10名	散歩	2名	散歩	7名
					クッキング	7名	ふれあいタイム	9名
					ふれあいタイム	8名		
					ケーキを食べる	6名		
					散歩	1名		
11月	散歩	2名	煮物の座談会	7名			球根を植える	2名
			ゆず味噌作り	7名				
			おはぎ作り	7名				

			クリスマスツリー飾り	6名				
12月	ツリー飾りつけ	6名	ケーキを食べる	9名	クリスマスツリー飾り	5名	クリスマスツリー飾り	4名
	ふれあいタイム	8名						
	ケーキを食べる	9名						
1月	書初め	4名	福笑い	5名	新年を祝う	7名		
	箱根駅伝鑑賞	6名	新年会書初め	8名	雪に触れる	8名		
			生け花	2名				
			ぜんざいで小正月	9名				
2月	苑内散歩 茶器を見に	1名	節分(鬼当てゲーム)	4名	お汁粉を食べる	8名	お汁粉を食べる	10名
					ふれあいタイム	7名	ひな祭りの飾りつけ	5名
					手紙を書く	1名		
3月	ゲーム	3名	ふき味噌作り	1名			花見散歩	5名
	花見	10名	苑外散歩	6名			ふれあいタイム	7名
			花見	5名				

(3) 個別外出支援

入居者の希望を聞き、自宅訪問など遠出する外出支援は、新型コロナウイルスの影響で行わず、苑周辺の散歩などのユニット行事で楽しみを持っていただくように努めた。

(4) 家族との食事会(誕生日)

入居者の誕生日に家族を招いて行う食事会は、新型コロナウイルスの影響で、開催しなかった。

各番館で、誕生日のお祝いを行った。

(5) 行事食

36 ページの「本館【報告資料】 8. 行事等の実施状況」(4) に記載

(6) ボランティア受入れ状況

37 ページの「本館【報告資料】 8. 行事等の実施状況」(5) に記載

9 嗜好調査

(1) 共通事項 (自分で答えられる人)

① 食事の内容はどうか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
	8/10人	7/10人	3/9人	7/10人
ア. だいたい良い	7	6	3	4
イ. まあまあ	0	1	0	2
ウ. 良くない	1	0	0	1
回答なし	0	0	0	0

② 食事の味付けはどうか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	7	5	3	6
イ. 濃い	0	1	0	0
ウ. 薄い	1	1	0	1
回答なし	0	0	0	0

③ 食事量はどうか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	7	5	3	5
イ. ちよつと多い	0	0	0	0
ウ. 少ない	1	2	0	2
回答なし	0	0	0	0

④ おかずは食べやすい大きさですか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	8	6	3	6
イ. 大きい	0	0	0	0
ウ. 小さい	0	1	0	1
回答なし	0	0	0	0

⑤ 一番好きな物はなんですか

壱番館	弐番館	参番館	伍番館
果物	おでん	玉子焼き	焼き魚
刺身	魚 (たこ/マグロの刺身)	カレーライス	鮭
寿司飯	おはぎ	何でも食べる	刺身
カレーライス	肉		肉類
何でも食べます	カレーライス		何でも食べる
甘い物が好き	味噌汁・味噌ラーメン		
あるけど思いだせない。	カレーライス		
	なんでもいい		

⑥ 嫌いな食べ物はなんですか

壱番館	弐番館	参番館	伍番館
生クリーム	魚、生鯖	なし (3名)	牛乳
魚	魚		なし (5名)
味気のない物 ない (6名)	特になし (4名)		

⑦ 食事のことで、感じておられることはありますか

壱番館	弐番館
<ul style="list-style-type: none"> ・ここのご飯は、だいたいおいしい。 ・白菜の芯、きざみが固い時がある。 ・ない (3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・味が薄く感じる。 ・味噌ラーメンが食べたい。
参番館	伍番館
<ul style="list-style-type: none"> ・食べるばっかしだけー ・皆で食べたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お粥が嫌い。少しでいいのでご飯粒が食べたい。 ・魚がつぶしてあり喉につまる。 ・好き嫌いがないので、普通に食べられりゃーいい。 ・一度度にたくさんたべれない。 ・ない (3名)

(自分で答えられない方)

① 食べやすい・飲み込みが良い料理はどんな料理ですか

壱番館	弐番館	参番館	伍番館
甘い物	ツルツルした食感の物	デザート類 (2名)	ヨーグルト等
デザート	汁	何でも食べられる。	
味のしっかりした物	デザート (2名)		
昆布、漬物をのせたご飯	ポカリ		
	ヨーグルト		
	さらっとした料理		

② 食べにくい・飲み込みが悪い料理はどんな料理ですか

壱番館	弐番館	参番館	伍番館
味付けの薄い物	ミキサーでザラザラした物	固すぎても、ゆるくても	酸っぱい物
酸味・辛味の強い物	青野菜、にがい物	ムせる (2名)	甘い物など
モサモサした物	粥	特になし (3名)	特になし

③ 食事のことで感じておられることはありますか

壱番館	弐番館
<ul style="list-style-type: none"> ・食事量の盛り付けが一定でない。 ・食事の固さが一定でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に、飲み込みが悪くなっている。
参番館	伍番館
<ul style="list-style-type: none"> ・こぼしはあるが、自分のペースで食べられている。 ・食べるペースが段々とゆっくりになってき ・食事は、毎日全量摂取されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ムせる方が多い。

10 お楽しみ調査

	壹番館 10/10名		貳番館 10/10名		参番館 9/9名		伍番館 10/10名		全体 39/40名	
	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方
	10名	0名	8名	2名	5名	4名	6名	4名	29名	10名
家族、親戚の面会	4	0	7	2	2	0	3	2	16	4
食べること (食事・おやつ)	8	0	8	1	3	3	5	2	24	6
職員と棟の利用者 で料理をすること	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
お風呂に入ること	2	0	6	1	2	0	6	3	16	4
外出(散歩等)	4	0	6	1	1	0	5	0	16	1
趣味活動/折り紙、貼り絵・ 体操・歌・カラオケ	0	0	5	0	1	0	2	0	8	0
弥栄苑の売店での買い物	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
グループで活動すること、 ふれあいタイム・クッキング	1	0	5	0	0	0	4	0	10	0
職員・仲間等とおしゃべり をすること	0	0	6	1	2	1	4	2	12	4
新聞	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
未実施(入院)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

11 入院状況

(1) 月別入院状況 (人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0.3人
R4	1	2	1	2	1	0	1	2	1	2	2	1	16	1.3人

※ 入院理由：間質性肺炎2人、癌1人、食道裂孔ヘルニア1人、ペースメーカー電池交換1人、肺炎2名、肺血栓1名

(2) 月別入院状況 (日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	30	0	23	58	4.8日
R4	19	11	7	9	4	0	11	25	17	31	33	31	198	16.5日

(3) 夜間（待機看護職員）の呼び出し件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	2	1	1	0	0	1	2	6	2	1	0	16

※ 内容は、看取り10件、転落2件、ずり落ち1件、痰がからむ1件、血中酸素濃度の低下2件

(4) 看取りの状況 退居者17名のうち14名の看取りを行った。

12 ヒヤリハット・事故報告書

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
壱番館	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
貳番館	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	6
参番館	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	4
伍番館	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	5
合計	1	1	2	1	4	0	2	3	0	1	0	2	17

(2) 番館別事故発生件数

	転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	誤嚥誤飲	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
壱番館	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	9
貳番館	3	0	2	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	1	3	14
参番館	2	0	4	0	2	2	0	0	2	0	0	1	2	3	1	19
伍番館	0	3	0	0	1	4	0	0	1	0	1	0	2	4	4	20
合計	7	4	8	0	3	7	0	3	3	1	1	1	5	9	10	62
R3	5	3	4	1	2	7	1	1	4	0	1	0	4	7	4	44

※ 転倒、転落、ずり落ちの事故19件では、1年以内の入居者の事故が13件あった。安全委員会で事故分析した結果を各棟に周知した。

※ 浜田地区広域行政組合への報告は1件。転倒により頭部を打ちCT検査をした。

13 研修

(1) 職場外研修（弥栄苑本館と共通開催）

(2) 職場内研修（弥栄苑本館と共通開催）

(3) 新館研修

ア. 認知症について

開催日	内 容	講師	参加者数
8月25日	認知症勉強会 (苑のテキストをもとに)	坂本 利夫 奥本 雅次	13名
1月25日	認知症勉強会 (事例を通して Nさん)	山崎美奈子 徳田 康則	14名
2月21日	認知症勉強会 (3つの事例から考える)	盆子原美希 小松原怜英	11名

(4) 法人研修 (高齢者施設でのクラスターが多く発生し、開催を見送った。)

14 苦情

(1) 苦情申出件数 0件

(2) 相談受付表 弥栄苑本館と共通

15 設備の改修等

項 目	内 容
購 入	・ 非常用電源設備の設置、車椅子1台
修繕・更新	・ 厨房エアコン1台更新、ガス給湯器6台

第3 第二種社会福祉事業

I 短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業

【経営】

項目	目 標	実 績	到達度
1. 収 入	・ 毎月の入所稼働率 70% を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用稼働率 55.7% ・ 定期的に長期の利用されていた方6名の内、4名が弥栄苑に入所、1名は死亡、1名は療養型に入所された。 ・ また、施設でのコロナ感染症のクラスター発生後、利用が低迷した。 	B
定員：6名			

【重点目標】

目 標	実 績	到達度
・ 災害への対応力強化のため、非常用電源設備を設置する。	・ 本館と同様に、補助金を申請し、交付されたので計画通り設置した。	A
・ LIFE（科学的介護情報システム）の活用を進める。	・ 本館と同様に、介護支援専門員、栄養士が順次入力を進めた。	A
・ 重度の利用者には、バランスの摂れた食事を提供し栄養状態の改善に努める。	・ 利用者の家族や、また、必要な場合はかかりつけ医などと相談し、情報を共有しながら状態の改善に努めた。	A
・ 自立度の高い利用者には意向を確認しながら、趣味等の活動の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本館の棟行事に参加を呼び掛けた。 ・ 趣味活動は、意向を確認し、個々にあった物品を準備した。 ・ 利用期間中は、身体の痛みや困りごとを把握するため、声掛けを常に行い安心して過ごせるよう努めた。 	A

【サービス提供】

- 1 弥栄苑本館入所者と同様のサービスを提供した。

【報告資料】

1 月別利用状況

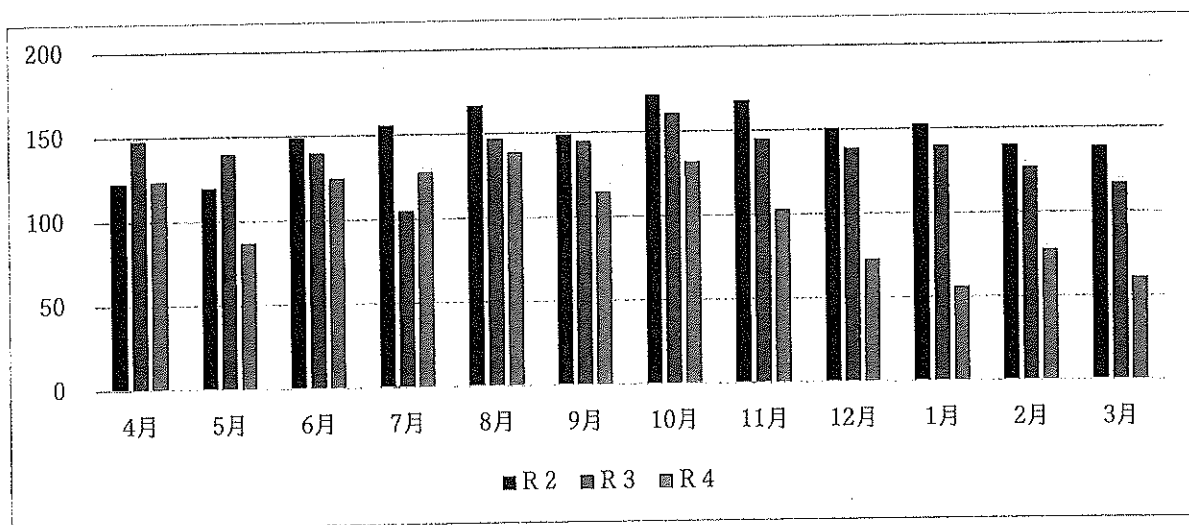
単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
延利用者数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	0	0	18	11	0	0	14	0	3	9	10	65	
	介護度1	0	0	0	0	0	3	3	1	17	0	0	24	
	介護度2	99	64	77	60	73	48	36	30	25	29	57	632	
	介護度3	8	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	19	
	介護度4	14	15	26	50	55	59	47	35	6	0	5	6	318
	介護度5	3	8	4	7	11	5	35	23	25	24	7	11	163
	利用者数計	124	87	125	128	139	115	132	103	73	56	78	61	1,221
1日当り利用者数	4.1	2.8	4.2	4.2	4.5	3.8	4.3	3.5	2.4	1.8	2.8	1.9	3.4	
利用率(%)	68.8	46.8	69.4	68.8	74.7	63.9	70.9	57.2	39.2	30.1	46.4	32.8	55.7	
平均介護度	2.36	2.62	2.59	3.03	3.02	3.13	3.56	3.55	2.95	3.35	2.44	2.88	2.96	
R3 利用率(%)	82.2	75.2	77.8	56.4	79	80.5	86.5	80.5	74.7	75.2	75.6	62.9	75.5	
R3 平均介護度	3.23	2.74	2.60	2.72	2.99	2.91	3.03	3.21	3.05	2.70	2.28	2.04	2.79	

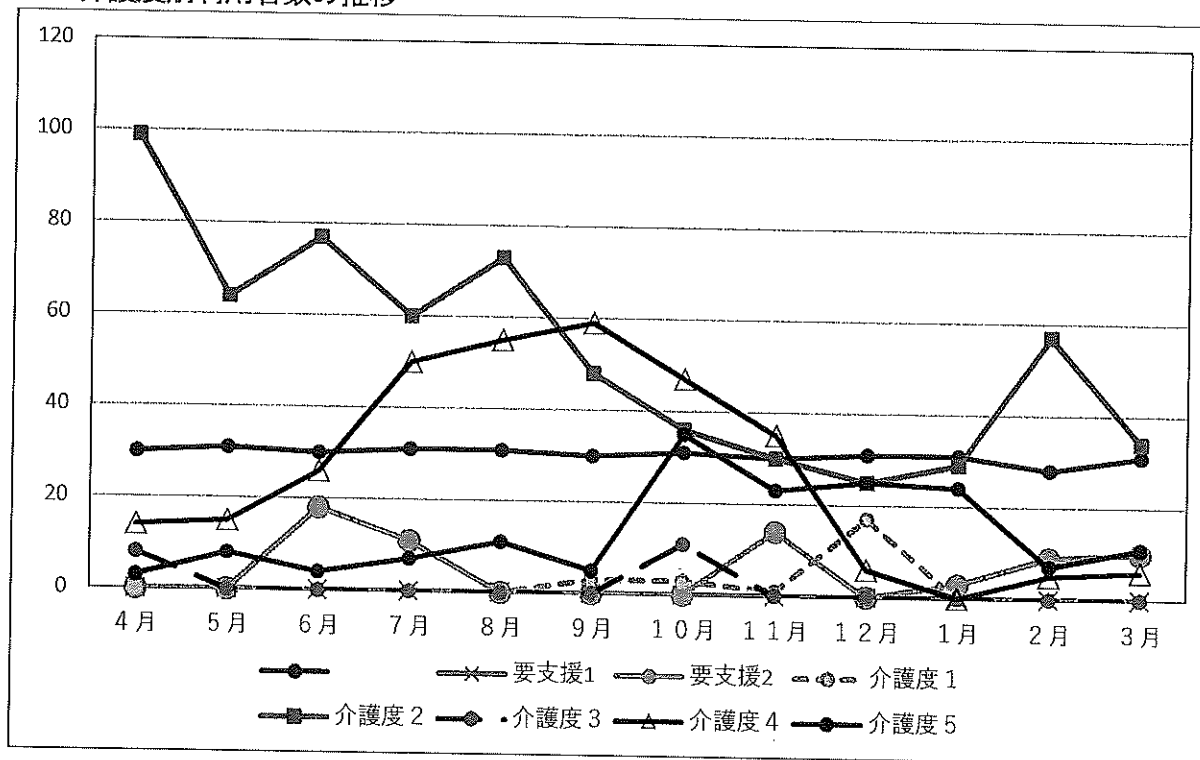
2 年度別、月別の利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	123	120	149	156	167	149	172	168	151	153	140	139	1,787
R3	148	140	140	105	147	145	161	145	139	140	127	117	1,654
R4	124	87	125	128	139	115	132	103	73	56	78	61	1,221



3 介護度別利用者数の推移



4 町内、町外別の利用状況

		利用者数(人)	利用率(%)	利用回数(回)	1回当たり平均利用日数(日)
R 2年度	町内	1,264	70.7	92	13.7
	町外	523	29.3	81	6.6
R 3年度	町内	1,296	78.4	95	13.6
	町外	358	21.6	31	11.5
R 4年度	町内	804	65.8	84	9.5
	町外	417	34.2	49	8.5

5 月別新規契約及び契約解除の状況

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約件数	2	0	2	1	2	0	1	0	0	1	0	0	9
契約解除者数	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	4	0	9
解除理由	施設入所	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4	0	8
	死亡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

6 ヒヤリハット・事故報告

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3	0	0	4	1	3	0	0	0	1	0	0	0	9
R4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

※ ヒヤリハット3件は、要支援2、要介護2と4の利用者。

歩行できる利用者の転倒の危険と、ベッドで過ごされる利用者の転落の危険があった。
対応策を協議し、ご家族に状況を伝えた。

(2) 種類別事故発生状況

	転倒	転落	すり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	窒息	誤薬	異食	離棟 (徘徊)	離苑 (行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
R3	2	1	5	0	2	1	1	1	1	0	3	0	1	0	3	21
R4	2	0	2	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	11

※ 前年度より、事故の件数が減となった。

誤薬事故の3件は、自分で服用される利用者が薬を1錠、床に落としていた事故や、
眠前の薬を夕食後に服用させた事故があった。

服薬介助マニュアルを再度確認し、安全委員会から、各棟に対し誤薬しないよう予防
活動を行った。

7 その他

購入物品はなし

II 弥栄デイサービスセンター（通所介護事業）

【経営】

項目	目標	実績	到達度
1. 収入	<ul style="list-style-type: none"> 1日の登録利用者数21名を目指す。 1日の平均利用者数18名を目標にする。 キャンセルとならないように利用日の柔軟な変更を行い1ヶ月の予定利用者数を確保する。 地域包括支援センターやケアマネジャーと連携を密にして地域住民の情報を収集し、新規利用者の獲得を行う。 加算を取得できる体制を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3月実績 13～18名 平均12.9名 地域ケア会議等で新規利用へ繋がった利用者が3名あった。 個別機能訓練加算を検討したが、利用者数の関係で必要な職員配置ができず未取得であった。 	C
	<ul style="list-style-type: none"> 弥栄町内からの利用希望は積極的に受け入れる。 利用者ごとの利用一覧を作成し、利用キャンセルの連絡時に、別曜日への案内が出来る体制を作る。 受入状況表を月初めに作成し、浜田市内の居宅介護支援事業所へ情報提供し、新規利用者を増やす。 総合事業については、入浴や送迎にかかる必要経費を算定し、浜田市サマーレビュー前に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者17名の内町内14名 他のサービスを利用されていない方は同週内の別曜日に案内し、2名の方を振替利用があった。 浜田市の居宅介護支援事業所から新規2名の依頼があり利用開始した。 経費算定作業出来ず提出に至らなかった。 <p>※ 以下詳細については報告資料《資料1》に掲載</p>	C
【重点目標】	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練のニーズは多いため、職員がリハビリテーションカレッジ島根の講師や保健師等の指導を受け機能訓練メニューを強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で5月と8月にコロナ感染症の発生があったことなどにより外部への依頼を行わなかった。 軽スポーツのボッチャを導入した 	C

2. 支 出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者人数により職員の配置が決まる。ケアが集中する時間帯に応じた職員を配置する。 ・ 燃料費削減の為、利用者にも無理のない範囲で効率の良い送迎順とする。 ・ 介護職員については訪問介護事業との連携を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴対応のため、午前中に配置することを意識した。 	B
			B
			—

【サービス提供】

1 指定通所介護事業及び、介護予防通所介護（従来型）

項 目	計 画	実 績	到達度
1. 入浴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の清潔を保持するとともに全身状態の確認を行う。 ・ 身体状況に応じた入浴を行う。入浴が出来ない場合は、手足浴、清拭を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
2. 排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な声かけや介助を行う。 ・ 身体状況に応じた排泄、清潔の保持を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
3. 食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体状況（咀嚼・嚥下）、嗜好状況により個々のニーズに応じた食事を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
4. 送迎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体状況に応じた送迎を行う必要があり、適宜見直しを行う。 ・ 声かけや介助を行い、安全に乗り降りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
5. 機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事前の「口腔体操」を行う。 ・ 一人ひとりの身体状況を確認しながら、日常生活動作訓練・運動機能訓練を行う。機能訓練による成果や利用者の満足感が表せる様子を講師等と作成し、利用者本人、家族に提示できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ 弥栄にこにこ体操を継続した。 ・ 外部の方の調整が出来なかった。 	B
6. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧・体温測定、身体状況の観察や健康相談などを実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげる。 ・ 年4回の体重測定を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
7. 相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議、ケアカンファレンスを開催する。 ・ 把握した状態・情報を通所介護計画書に反映。サービスの統一と最適 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回のカンファレンスを行い、サービスに反映できた。 	A

	化を図る。		
8. レクリエーション・アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> グループや個人が楽しんで活動できるものを計画する。 ゲーム感覚で使用するにより、認知機能の低下予防が図れるタブレットとアプリを導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲向上につながる様なグループ、個人活動を実施した。 タブレットとアプリを導入した。利用について、なかなか操作に慣れずに定着化していない。 ポッチャを導入し、月の1週で実施した。 	B
9. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> 些細な事でも報告をするという意識を持つ。 事故報告を元に発生要因を分析し、再発の防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告のあった事例について検討を行った。《資料2》 	A
10. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルの定期的な見直しを行い、事故を予防する事を目指す。 デイサービスの避難訓練（火災・地震）を実施する。 地域住民の協力体制や一時避難所としての利用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 弥栄苑と合同 6月24日(日中想定でデイのみで実施) 11月24日 	A
11. 苦情	<ul style="list-style-type: none"> 要望や意見を集約する。 申し出があった場合は、内容を真摯に受け止め、迅速、かつ適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望に随時対応した。苦情0件 	A
12. 家族との連携	<ul style="list-style-type: none"> 家族との情報交換を積極的に行い、利用者の特性を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
13. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活動されているグループやボランティアの受け入れをする。 利用者の積極的な社会参加を促すために、地域行事への作品の展示を行う。 「生涯学習と健康福祉の集い」に参加し、利用者作品の展示や事業の紹介を行う。 訪問販売や詐欺等事件に遭わないように声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の行事や催事がコロナで中止となる。グループやボランティアの活動も訪問提案等無し。《資料3》 	-
その他		実績	到達度
1. サービスについての満足度把握	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や担当者会議において要望や意見を集約し、サービスに反映する。 介護相談員が集約した利用者の意見・要望を聴き、サービスに反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や担当者会議での要望意見について対応した。 介護相談員の受入を実施した。 8/2、10/6、1/24 《資料4》 	B

2 通所型サービスA2（緩和型）

項目	計画	実績	到達度
1. レクリエーション・アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の能力に応じ生活機能の維持向上の為に、自発的な動きが出来るように支援する。 ・ 達成感を味わうことで心身の活性化につながるように支援する。 ・ 利用者の仲間づくりや生きがいをづくりのために、簡単な運動やゲーム、物づくりなどに参加できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ ボッチャを下期に導入し、月1回で実施した。 	A
2. 交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出する事により、身体的・精神的に自信が持てるように支援する。 ・ 利用者同士による交流が図られるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
3. 地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事や、住民による行事への参加など社会参加につながるよう支援する。 ・ 悪質な訪問販売や詐欺等の事件に遭わないように、声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
4. 相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議やモニタリングなどを行うことで、通所型サービス計画書に反映し、サービスの最適化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ 個々の希望・要望に対して随時対応した。 	A
5. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全なサービスの提供のために、些細な事案のヒヤリハットまたは、事故報告を行うとともに、発生要因を分析し再発防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
6. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練を行い、自身で身の安全が図られるように支援する。 ・ 地域住民の協力体制や一時避難所としての利用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
7. 苦情・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスに際しての要望や意見を集約する。 ・ 苦情の申し出があった場合は、内容を真摯に受け止め、迅速、かつ適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ 苦情無し 	A
8. 食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体状況、嗜好状況により個々のニーズに応じた食事を提供する。 ・ 楽しみながら食事ができる雰囲気づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
9. 送迎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で快適な送迎を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A

10. 心身関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧・体温測定、身体状況の観察や健康相談などを実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげる。 ・ 年4回の体重測定を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	A
----------	---	--	---

【人材育成】

- ・ 技術研修は、未開催が多く参加しなかった。
インターネットを利用した研修会に参加した。
 - ・ 法人研修は実施せず。
 - ・ キャリアアップの為に能力評価も行った。
- ※ 研修内容の詳細については《資料5》に掲載

【その他】

1 諸会議および委員会

(1) 会議

名称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
デイサービス会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営及びサービスの改善に関する協議 ・ 行事計画 ・ 研修報告 ・ 施設内協議事項の報告および検討 ・ 職場環境に関する協議 	月1回	・計画通り実施	A
防災会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービスにおける防災に関するマニュアルの作成と見直し。 	年2回	・ 弥栄苑防火管理委員会に参加。	A
ケアカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通所介護サービス計画書の評価。 ・ サービス内容についての検討と周知徹底。 	月1回	・計画通り実施	A

(2) 委員会

名称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
事故防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハット、事故報告書を元に原因分析や再発防止を検討し、実施に向け啓発を行う。 ・ 虐待・身体拘束や介護事故に関する研修計画を立案する。 ・ 運転事故に関するマニュアルの見直しをする。 	月1回	・計画通り実施	A
感染症対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症に関するマニュアルの見直し。 ・ 感染予防に関する研修計画を立案する。 ・ 感染症発生時の対応検討（随時） ・ 業務継続に向けた計画の検討、訓練の計画 	2ヶ月に1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務での消毒や、環境整備を行った。 ・ 近隣の感染情報の収集を行った。 	A

※ デイサービス会議に併せ開催した。

(3) 他事業所との共催

名称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
給食委員会	・利用者・入居者に最適な食事を提供する為の協議をする	月1回	・計画通り実施	A
防火管理委員会	・施設の適正な防火管理業務の運営を協議をする。	6月、11月	・計画通り実施	A
広報編集委員会	・広報紙「ひだまり」の編集に関する事	必要時	・計画通り実施	A
看護職員部会	・各事業所利用者の情報交換、資質向上のための疾病等の勉強会、職員の健康・衛生管理、特にメンタルヘルス対策の充実、その他、看護職員として必要な事項	年4回計画	・新型コロナ感染症予防のため未開催	—
環境美化委員会	・施設内外の環境の保全と美化推進に関する事	必要時	・必要時に実施	A
サービス担当者会議	・サービス計画の評価・検討を協議する	随時	・必要時に実施	A
役職者研修会	・組織及び役職者としての役割の理解と実践自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける	月1回	・計画通り実施	A
管理者会議	・円滑な事業運営を行う為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	月1回	・計画通り実施	A

(4) 地域内の会議

名称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
地域ケア会議	・弥栄町内在住の要支援高齢者の情報共有と包括支援が円滑に取り組まれるように開催される。	月1回	・5回参加	A

2 職員体制

(令和5年4月1日現在)

職名	正規職員	パート職員	合計
所長・生活相談員(訪問と兼任)	1人(0.7)		1人
事務員	1人(0.5)		1人
生活相談員	1人(0.5)		1人
看護職員・訓練指導員		2人(1.2)	2人
生活相談員兼介護員	1人(相0.5介0.5)	1人(相0.1介0.3)	2人
介護員		2人(1.8)	2人
合計	4人	5人	9人

※ () 内は常勤換算数

3 年間行事

コロナ感染症の市内発生状況や、利用者の体調を考慮しながら、外出以外の行事を実施した。

※ 実施行事は《資料6》に掲載

報告資料

《資料1》

1 指定通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 指定通所介護および介護予防通所介護の利用状況

① 1日平均利用者数（目標18人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業日数	22日	18日	21日	22日	20日	22日	22日
要介護	196	162	169	188	154	176	189
要支援	94	91	102	99	85	101	97
計	290	253	271	287	239	277	286
1日平均利用者数	13.2人	14.1人	12.9人	13.0人	12.0人	12.6人	13.0人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日数	21日	23日	21日	20日	22日	254日	
要介護	199	227	194	188	208	2,250	
要支援	85	62	65	73	75	1,029	
計	284	289	259	261	283	3,279	
1日平均利用者数	13.5人	12.6人	12.3人	13.1人	12.9人	平均12.9人	

② 年次介護別利用状況

ア（要支援）・・・総合事業従来型

単位：人

	R2年度	R3年度	R4年度
要支援1	79	86	84
要支援2	1,200	1,046	945
合計	1,279	1,132	1,029

イ（要介護）

単位：人

	R2年度	R3年度	R4年度
要介護1	865	993	640
要介護2	990	684	582
要介護3	433	467	526
要介護4	84	354	272
要介護5	163	259	230
合計	2,535	2,757	2,250

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業のうちの通所型サービスAの利用状況

① 月別利用者数

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	56	48	67	53	48	61	45	45	54	41	38	54	610
R4年度	47	32	60	33	31	34	41	46	35	26	28	46	459

(3) その他、実績

① 介護度別利用登録人数（年度末）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	支援1	支援2	事業対象者	合計
R3年度	13人	9人	6人	3人	2人	5人	16人	7人	61人
R4年度	10人	11人	5人	3人	3人	3人	14人	6人	55人

② 年間月別の利用者延べ人数（要介護者、要支援者、緩和型利用者）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2年度	318	384	392	399	334	374	398	380	384	319	336	396	4,414
R3年度	403	373	371	406	366	384	411	410	426	358	310	337	4,555
R4年度	337	285	331	320	270	311	327	330	324	285	289	328	3,737

2 地域別利用登録人数

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
浜田市内	0人	0人	2人
浜田（鍋石）	0人	0人	0人
浜田（櫛田原）	1人	1人	0人
浜田（田橋）	2人	2人	2人
浜田（長見）	0人	0人	1人
三隅町	6人	5人	5人
やすらぎの家	2人	2人	1人
弥栄町	57人	51人	44人
計	68人	61人	55人

《資料2》

1 介護事故

(1) ヒヤリハット、事故発生状況

単位：件数

種類	転倒・転落	裂傷・切傷	表皮剥離	入浴介助	対人トラブル	運転・車両関係	その他	計
ヒヤリ	0	0	0	0	0	2	0	2
事故	3	1	0	0	0	1	1	6
合計	3	1	0	0	0	3	1	8

(2) 場所別発生状況

単位：件数

場所	ホール・ 畳室	浴室・ 脱衣場	ベッド・静 養室	トイ レ	送迎 車内	利用者宅 道路等	利用者宅 玄関等	デイ 玄関	計
ヒヤリ	0	0	0	0	1	1	0	0	2
事故	3	0	0	1	0	1	0	1	6
合計	3	0	0	1	1	2	0	1	8

《資料3》

1 地域との連携

(1) ボランティアの受け入れ、地域との交流

- ・ 地域芸能グループ等からの慰問訪問は無かった。

《資料4》

1 その他、サービスについての満足度把握

(1) 家族の要望・ご意見

- ・ 利用日の送迎時やサービス担当者会議で、ご本人・ご家族とサービスの状況を都度確認を行った。

(2) 介護相談員からのご意見

- ・ 介護相談員の受入を実施した。
介護相談員の訪問を3回受け、利用者の声を聴いて頂いた。

《資料5》

1 内部研修

開催日	研修内容	講師及び担当者	参加者数
11月24日	「地域防災・減災の考え方と 自主防災組織の役割」	防火管理委員（資料配布）	1

2 外部研修

開催日	研修名	主催者	場所	参加者
7月27日	安全運転管理者講習	島根県安全運転 管理者協会	石中央文化ホー ル	金高 哲
10月29日	認知症サポーター養成講 座	弥栄のみらい創 造会議	杵束まちづく りセンター	金高 哲 牛尾 良美
3月17日 ～	令和4年度高齢者虐待防 止研修 安全な職場づくり ～高齢者虐待防止の取り 組み	島根県	Web	金高 哲

《資料6》

1 年間行事

月	利用者関係	施設および職員関係
4月	・さくら見物 (野坂) 4/6~4/12	
5月	・つつじ見物 (弥栄苑周辺) 5/6~5/12	
6月	・ドラ焼きの日 6/6~6/10 ・消防避難訓練 6/24	広報「ひだまり」の発行
7月	・七夕行事 6/27~ 短冊準備	
8月	・納涼祭(涼み会) 8/8~8/13	職員健康診断 8/25
9月	・長寿のお祝い 9/19~9/24	
10月	・運動会 玉入れ、ドーナツ取り競争 10/20~10/25	害虫駆除(厨房のみ)
11月	・ホットケーキの日	広報「ひだまり」の発行 インフルエンザ予防接種 消防訓練 11/24
12月	・クリスマス行事	
1月	・お楽しみ会 神経衰弱	
2月	・節分行事	広報「ひだまり」の発行
3月	・ひな祭り行事(ひな人形)	

※ 毎月、当月生まれの誕生者の方に誕生カードを送り、お祝いをした。

《その他》

1 苦情の状況

苦情件数・・・0件

Ⅲ 弥栄ヘルパーひだまり（訪問介護事業）

【経営】

項目	目標	実績	到達度
訪問時間数	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業・介護予防、日常生活支援総合事業の訪問時間の目標を、510時間とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 月平均 528 時間 達成率 103% 	A
収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターやケアマネージャーと連携をとり、新規利用者の確保に努める。 訪問可能なスケジュールを把握し、相談、依頼があればすぐに対応できる体制を整える 	<p>利用可能な曜日、時間を常に把握しておき、対応に備えた。</p> <p>居宅介護支援事業所に、新規利用者の紹介をお願いした。</p>	A
人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 職員高齢化による世代交代を図るため、職員募集を行う 	<p>外部（ハローワーク等）への職員募集は事業所と行わなかった。</p>	D
訪問車両更新	<ul style="list-style-type: none"> 訪問車両老朽化のため、車両の更新を行う 	<p>ケアプランやさか（居宅介護支援事業所）と折半で、リース契約により1台を更新した。</p> <p>また、中央競馬馬主社会福祉財団から助成を受け、1台を更新した。</p>	A

1. サービス提供地域	報告資料 1 に掲載
2. 介護保険事業 (1) 指定訪問介護事業	報告資料 2 に掲載
3. 介護予防・日常生活援助事業 (1) 介護予防訪問介護	報告資料 3 に掲載
(2) 訪問型サービス A	報告資料 4 に掲載

【サービス提供】

項目	計画	実績	到達度
1. サービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状態や生活の状況を把握し、必要なサービスの提供が出来るよう計画する 利用者や家族等が望むサービスの提供が出来ているか、サービス提供責任者の定期訪問を実施し、評価を行い、サービスの改善をはかる 	<p>計画通り実施</p> <p>要望を確認し改善につなげることが出来た。</p>	A
2. 利用者情報の共有、伝達	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所（居宅介護支援事業所や訪問看護等）と連携して利用者の状態を把握する 利用者の体調や状態の変化があれば、サービス提供責任者や関係の事業所に伝達する 生活上での不安や困りごとの相談に対し、しっかり話を聞き問題点の把握に努める 	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問時に状態の変化を見逃さないようにした。 	A
3. 身体介護	<ul style="list-style-type: none"> 状態に合わせて利用者の負担にならない介護が行えるように、技術向上をはかる 羞恥心への配慮を心がけ、自尊心を傷つけないよう利用者の身になって接する 残存機能を生かし、出来る事は継続して行えるよう支援を行う 	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者に合わせた対応が行えるよう、事業所内で技術の研修を行った。 	A
4. 生活援助	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活歴やこだわりを理解して支援する 体調や病気に配慮した調理を行う。 利用者の有する能力が維持できるように配慮し、自立に向けた支援を行う 	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議の際に情報交換することで、サービスを統一することに努めた。 	A
5. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 感染症についての知識、対応を身につける 感染の媒体にならないよう、意識して行動する 利用者の状態が急変した時は、マニュアルに基づき適切に対応する。 各種マニュアルの見直し及び研修を行う。 利用者が悪質な訪問販売や詐欺の被害に遭わないよう、必要な情報を提供し助言を行う 	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修を行い、常に気をつけるよう心掛けることが出来た。 	A
		<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの見直しを都度実施した。 	A
		<ul style="list-style-type: none"> 訪問時に気をつけるように声掛けをした。 	A

6. 苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> 苦情の申し出に対しては、迅速、かつ適切に対応し、安心してサービスを継続させていただけるよう、サービスの改善をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情1件 事故後の対応に不満 	B
7. 事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの報告件数を増やす 事故、ヒヤリハット報告をもとに発生要因の分析を行い、再発防止を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 事故報告12件 ヒヤリハット1件 事故発生防止委員会で対処方法を徹底した。 	B A

【人材育成】

一人一人が同じ意識を持ち、同レベルのサービスを提供するために、外部研修に参加する予定であったが、コロナ禍であるため、参加を見送る研修もあった。

※ 詳細については、報告資料5に掲載

【その他】

1 会議、委員会

(1) 会議

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
ヘルパー会議	利用者への支援内容の検討と評価、研修報告、その他事業運営に関する事項の検討を行う	1回/ヶ月	計画通り実施

(2) 委員会

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
事故発生防止委員会	ヒヤリハット、訪問中の事故に対して原因を分析し、防止に努める	随時	計画通り実施

(3) 他事業所との共催

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
役職者研修	組織及び役職者としての役割と実践、自己のメンタルヘルスマネジメントと自分で考える力を身につける	1回/1ヶ月	5回/7回参加
管理者会議	円滑な事業運営を行うため、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	1回/1ヶ月	計画通り参加

広報編集会議	広報「ひだまり」の編集など	3回/年	
防火管理委員会	施設の防火管理業務の適正な運営を図る	2回/年	
サービス担当者会議	サービス計画の評価と見直しの検討をする	サービスの更新時やケアマネからの依頼があったときに参加した。	

(4) 地域内の会議

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
地域ケア会議	弥栄町内の高齢者の情報の共有、支援に対する目的の統一など	1回/1ヶ月	5回参加

2 職員の状況

(1) 令和5年3月31日現在

単位：人

職名	正規職員	パート職員	合計	備考
所長	1		1	通所介護事業所管理者兼務
サービス提供責任者	2		2	訪問介護員兼務
訪問介護員		7	7	再雇用職員含む
事務員	1		1	他事業所と兼務
合計	4	7	11	

(2) 上記職員のうち正規職員4名の兼任状況

職名	人数	弥栄ヘルパーひだまり勤務				他事業所の業務へ従事
		管理者	サービス提供責任者	訪問介護員	事務	
所長	1	0.3				0.7
サービス提供責任者	2		0.7(0.3)	0.3(0.2)		0.5
事務員	1				0.3	0.7
合計	4	0.3	1.0	0.5	0.3	1.9

《報告資料》

1 サービス提供地域別利用者数

訪問地域	平成31年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
弥栄町内	26人	24人	25人	24人
寿光苑	5人	4人	3人	2人
三隅町内	9人	10人	22人	24人
櫛田原、 田橋、横山	2人	2人	2人	1人
浜田市内	6人	5人	5人	8人
計	48人	45人	57人	59人

2 指定訪問介護事業

(1) 要介護1～5の利用者訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	316:30	287:45	306:45	299:30	366:50	378:45	404:40	377:30	379:00	365:30	374:20	472:45	4329:50
	33	34	35	34	35	37	41	40	37	37	39	39	441
4年度	528:00	482:20	488:00	427:35	417:40	430:15	455:55	456:45	436:45	403:10	415:50	495:20	5437:35
	43	42	42	41	43	45	45	43	43	41	44	42	514

※ 単位：上段は時間、下段は人

(2) 月当たりの利用状況

(小数点以下四捨五入)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月当たりの 平均利用人数	40人	35人	37人	43人
月当たりの 平均利用時間	482時間	392時間	361時間	453時間

(3) サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼	3年度	146:30	111:45	116:45	112:00	109:20	132:15	157:30	153:30	145:30	135:00	96:05	136:15	1552:25
	4年度	150:30	149:00	166:30	130:50	123:10	142:15	169:55	188:35	156:45	148:30	153:50	181:50	1861:40
		206	205	221	181	162	188	243	270	227	216	229	268	2616
昼 暮	3年度	108:00	106:00	119:30	125:30	184:00	169:30	167:10	134:00	126:30	141:00	190:15	207:00	1778:25
	4年度	222:30	230:20	209:00	192:15	205:00	214:30	219:00	210:10	197:30	163:20	165:30	192:00	2421:05
		190	190	167	157	168	179	177	169	160	132	132	155	1976
暮	3年度	62:00	70:00	70:30	62:00	73:30	77:00	80:00	90:00	107:00	89:30	88:00	129:30	999:00
	4年度	155:00	103:00	112:30	104:30	89:30	73:30	67:00	58:00	82:30	91:20	96:30	121:30	1154:50
		167	127	150	130	102	89	79	62	97	108	109	146	1366

※ 単位：3年度及び4年度の上段は時間、4年度の下段は回数

3 指定介護予防訪問介護・総合事業（介護予防従来型・緩和型）

(1) 介護予防従来型（要支援1～2）

① 利用者訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	66:00	59:00	63:00	69:00	72:00	79:00	70:00	77:00	86:00	76:00	68:00	74:00	859:00
	10	11	11	11	12	12	12	14	15	13	14	12	147
4年度	64:45	80:00	87:00	80:45	91:15	79:15	75:45	70:30	58:15	65:00	68:00	77:00	897:30
	12	12	13	13	13	12	11	10	10	11	11	10	139

※ 単位：上段は時間、下段は人

② 月当たりの利用状況

(小数点以下四捨五入)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月当たりの平均利用人数	12人	10人	12人	12人
月当たりの平均利用時間	81時間	68時間	72時間	75時間

③ サービス内容別訪問時間数、延回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
訪問サービスⅠ	3年度	18:00	19:00	24:00	26:00	23:00	26:00	31:00	31:00	40:00	34:00	26:00	32:00	330:00
	4年度	23:45	23:00	31:00	24:45	24:15	21:15	19:45	13:30	13:15	15:00	20:00	23:00	252:30
		25	24	32	26	25	22	21	16	14	16	20	23	264
訪問サービスⅡ	3年度	48:00	39:00	33:00	43:00	49:00	53:00	39:00	46:00	46:00	42:00	42:00	42:00	522:00
	4年度	41:00	43:00	43:00	31:00	41:00	33:00	34:00	44:00	34:00	37:00	38:00	27:00	446:00
		41	43	43	31	41	33	34	44	34	37	38	27	446
訪問サービスⅢ	3年度	0:00	1:00	6:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	7:00
	4年度	0:00	14:00	13:00	25:00	26:00	25:00	22:00	13:00	11:00	13:00	10:00	27:00	199:00
		0	14	13	25	26	25	22	13	11	13	10	27	199

※ 単位：3年度及び4年度の上段は時間、4年度の下段は回数

※ 訪問サービスⅠ：1月につき週1回程度の訪問

訪問サービスⅡ：1月につき週2回程度の訪問

訪問サービスⅢ：1月につき週2回を超える程度の訪問

(2) 緩和型(要支援・事業対象者)

① 訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	4:30	4:00	2:00	2:30	1:30	2:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:30
	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	8
4年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 単位：上段は時間、下段は人

② サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A1	3年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	4年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
A2	3年度	4:30	4:00	2:00	2:30	1:30	2:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:30
	4年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 単位：3年度及び4年度の上段は時間、4年度の下段は回数

※ A1：1回につき45分以上60分未満

A2：1回につき20分以上45分未満

4 人材育成

(1) 施設外研修

開催日	研修名	研修内容	主催者	場所	参加者
6月16日	高齢者住まい看取り研修会	アドバンスケアプランニング	浜田市	Web	島田
12月14～15日	同行援護従業者養成研修【応用研修課程】	資格研修	島根県社会福祉協議会	松江	濱本
3月17日	安全な職場づくり～高齢者虐待防止の取り組み	高齢者虐待防止研修	島根県	Web	金高

(2) 施設内研修

実施年月日	研修内容	参加人数
4月27日	訪問介護の為のアンガーマネジメント	9人
5月25日	スライディングボードの使い方	9人
6月23日	食中毒について	10人
7月27日	高齢者住まい看取り研修復命研修	9人
8月24日	【中止】	
9月28日	個人情報保護について	10人
10月26日	災害予防	11人
11月23日	福祉用具の事故再発予防事例	8人
12月28日	【中止】 資料「冬の健康トラブル」	
1月25日	【中止】 資料「ガウンテクニック」	
2月22日	心肺蘇生法・AED 消防署職員派遣	10人
3月22日	訪問介護のヘルパーに多い悩みと対応策	11人

5 苦情の状況

苦情件数・・・1件

申出人	発生時	内容	対応・結果
家族	サービス 実施時	環境の安全確保不足 事故後の対応について不満	謝罪する。 会議にて職員への指導を実施する。 損害賠償を手続中

IV 弥栄ヘルパー（障がい福祉サービス事業）

【経営】

目 標	実 績	到達度
訪問の依頼があった場合、迅速に利用者に必要なサービスの支援が開始できるよう対応する	目標通り実施	A

【サービス提供】

項 目	計 画	実 績	達成度
1. 身体介護	・ 羞恥心への配慮を心がけ、自尊心を傷つけないよう利用者の身になって接する。	計画通り実施	A
2. 家事援助	・ 利用者の生活歴やこだわりを理解して支援する。 ・ 利用者の有する能力を損なわないように支援を行う。	計画通り実施	A
3. 心身関係	・ 利用者の体調や状態の変化に配慮して対応する。	計画通り実施	A
4. 相談援助	・ 利用者の状態や生活の状況を把握し、必要なサービスの計画を策定する。	計画通り実施	A
5. 通院介助	・ 利用者状態を把握し、安全に配慮して支援を行う。	計画通り実施	A
6. 苦 情	・ 苦情の申し出には迅速、かつ適切に対応し、安心してサービスを継続させていただけよう、サービスの改善に努める	苦情0件	—

【人材育成】

1 研修参加報告

(1) 外部研修

外部研修へは参加しなかった。

(2) 内部研修

「弥栄ヘルパーひだまり」の研修に併せ実施した。

弥栄ヘルパーひだまり「《報告資料》4 人材育成」に掲載

【その他】

1 会議

「弥栄ヘルパーひだまり」の会議に併せ開催した。

弥栄ヘルパーひだまり「【その他】1 会議、委員会」に掲載

2 職員の状況

介護保険事業所 「弥栄ヘルパーひだまり」の職員が兼務した。

《報告資料》

1 障がい福祉サービス事業（居宅介護）

(1) 訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	61:30	62:00	9:00	7:00	33:30	67:30	57:30	7:00	9:00	8:00	8:00	9:00	339:00
	2	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	17
4年度	8:00	12:00	11:00	16:30	16:30	12:00	14:00	10:00	19:00	18:00	17:00	20:00	174:00
	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	20

※ 単位：上段は時間、下段は人

(2) サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	3年度	17:30	15:30	0:00	0:00	9:00	18:30	15:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	75:30
	4年度	0:00	0:00	10:00	12:00	11:00	8:00	10:00	10:00	19:00	18:00	17:00	20:00	135:00
		0	0	10	12	11	8	10	10	19	19	17	20	136
家事援助	3年度	38:30	35:30	9:00	7:00	24:30	38:00	32:30	7:00	9:00	8:00	8:00	9:00	226:00
	4年度	8:00	12:00	1:00	4:30	5:30	4:00	4:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	39:00
		8	12	1	9	10	8	8	0	0	0	0	0	56
通院介助	3年度	5:30	11:00	0:00	0:00	0:00	11:00	10:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	37:30
	4年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 単位：3年度及び4年度の上段は時間、下段は回数

※ 支援内容
 身体介助…出勤前の食事確認、整容、入浴介助
 家事援助…調理 買物
 通院介助…通院の付き添い

2 浜田市地域生活支援事業（移動支援）訪問時間数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	0	0	0	2:00	5:30	0	0	0	3:00	2:00	8:00	1:30	22:00
3年度	6:00	6:30	5:00	0:00	0:00	14:30	10:00	5:00	0:00	0:00	0:00	0:00	47:00
4年度	0:00	5:00	5:00	6:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:00

※ 単位：時間

第4 公益事業

I ケアプランやさか(居宅介護支援事業)

【経営】

項目	目標	実績	到達度
1 収入			
① 居宅介護支援事業	・介護報酬該当担当件数	・月平均 46.1件 内訳 要介護1・2 31.3件 要介護3～5 14.8件	B
	月平均 要介護1・2 40件 要介護3～5 18件	・達成率 79.5%	
② 受託事業	・介護予防支援業務 月平均45件	・月平均 39.6件 ・達成率 88.0%	A
	・要介護認定調査 月平均6件	・月平均 6.5件	
	・家族介護者交流事業(介護教室) 年2回開催	・家族交流事業 6月、11月に開催 ・介護教室 6月、10月に開催	A
※ 詳細については、報告資料(1)～(5)及び(7)に掲載			
2 稼働率の向上			
① 積極的な情報収集	地域の会議等への参加や、関係機関との連携を深め積極的な情報収集に努める。	関係機関と同行訪問などで積極的に情報共有・課題解決に努めた。	A
② 在宅生活の維持	家族等の協力を得ながら、体調管理や転倒予防を行い、状態の変化が見受けられた場合、早期受診を促し入院の長期化及び介護状態の悪化を防ぎ、在宅生活の維持を図る。	電話での健康観察や関係機関への連絡調整を行い、重篤化予防や環境整備に努め、利用者の介護状態の悪化を防ぎ、一日でも長く在宅生活を送ることができるように努めた。	A
② 職員の資質向上	各種研修に参加し自己研鑽に努める。	各種研修にオンラインで参加するなど、資質向上に努めた。	A
※ 詳細については、【サービス提供】【人材育成】に掲載			

【重点目標】

重点目標		実績	到達度
1	利用者とそのご家族とのコミュニケーションを重視し、おかれている立場の把握や内外的な要因を取り除くことによって、信頼関係を得るよう努めます。	常に利用者の立場に立って支援することを心がけ、信頼関係を深めることに努めた。	A
2	課題分析(アセスメント)を正確に行なうことによって、利用者及びご家族の抱える課題や問題と向き合います。	正確な課題分析を心がけ、課題解決に努めた。	A
3	今、必要とされる介護保険制度やサービス提供等の情報を適切に詳しく説明するとともに、医療機関との情報連携を図ります。	情報収集に努め、利用者に必要な情報を提供した。	A
4	正確な身体の状態や生活環境等を把握し、その方の状態にあったサービスを提供できるよう、定期のモニタリング(サービス実施状況の把握及び評価)を行います。	利用者に最適なサービスが提供できるよう、重点目標のとおり実施することに努めた。	A
5	常に利用者の立場に立ち、何が今必要とされているかを一緒に考え対応します。	重点目標のことを常に心がけ対応した。	A
6	サービス事業所の選択に当たっては、利用者若しくはその家族の自由な選択を尊重し、複数の事業所の紹介を求めることが可能であるなどの説明を行ないます。	サービス事業所の選択が自由にできるよう、情報を提供した。	A

【サービス提供】

項目	計 画	到達度
1 質の高いケアマネジメントの推進	<p>① 利用者に対する適切な対応 利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場にたって居宅支援を行なう。 必要に応じて、生活支援サービスの提供の組み合わせや、事業所間連携などを行ない、質の高いケアマネジメントを目指す。</p> <p>② サービスの評価・点検 提供するサービスの振り返りを行うことで、サービスの評価を行い改善を図る。 マニュアルやチェックリストなどを基に、定期的に点検を行う。</p> <p>③ 適切なモニタリングの実施</p> <p>④ 内部研修の活性化</p>	A ・計画通り実施
<p>※ 前年度に実施された実地指導で指導を受けた事項を重視し、質の高いケアマネジメントの推進に努めた。</p>		

2	危機管理	① 秘密の保持、個人情報の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報書類については、鍵のかかるキャビネットや引き出しに保管する。 ・ 営業時間外は、事務所に施錠する。 ・ タブレットや携帯電話の持ち出しについては、パソコン使用規程、携帯電話貸与規程及び管理簿により適切に管理するとともに、紛失しないよう十分配慮を行う。 	A
		② 感染症・災害への対応強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症についての知識及び対応方法などを身につけ、自らが感染症の媒体にならないよう配慮し、また、利用者にも感染症予防対策を周知する。 ・ 感染症の予防及びまん延の防止のための指針を策定し、指針に基づいた研修や訓練を実施する。 ・ 業務継続計画(BCP)を作成し、災害や感染症発生時の利用者の安全確保とケアマネ業務の維持・継続を図る。 	A
		③ 苦情への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者及び家族、居宅サービス事業者、保険者との連携に努める。 ・ 苦情や相談には迅速に対応する。 	A 苦情0件
		④ 事故等の防止 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が、悪質な訪問販売や詐欺の被害に遭わないよう、情報提供し助言する。 ・ 防災についての呼びかけや、避難所の確認などを行なう。 ・ 利用者に対し、あらゆる事故の防止について啓発を行う。 ・ 交通ルールを遵守し事故等発生防止に努める。 	A

BCP 作成中

※ 4月から包括支援センターの主体機関が浜田市社協へ変更になったため、新規の利用者や要介護認定の必要な方への同行訪問を行うなどをして連携強化に務めた。

※ 弥栄診療所では、今年度も島根医大の医学生や研修医の研修を実施され、利用者への同行訪問や担当者会議への参加を通して、介護支援専門員の業務について説明を行うなど、地域福祉の研修に協力した。

※ 弥栄中学校の授業の一環である【総合的な学習】の地域活動の取り組みに対し、授業に参加して弥栄町内での高齢者の生活の様子や介護支援専門員の役割についての説明や、【高齢者にしてあげたい事】の学習に対し、地域貢献と将来的な人材育成への協力として同行訪問を行った。

※ 新型コロナウイルス感染症に関する予防対策の統一を図り、事業所内での感染予防に努めた。

- ・ 利用者宅への訪問時には、訪問前後に携帯用消毒液を使用して手指消毒、マスクの着用、玄関戸の開放、玄関口での面談等を行い、利用者及び家族や職員自らの感染予防に努めた。
- ・ 新型コロナウイルス陽性者の発生状況や感染状況の把握に努め、サービス提供事業所

間との情報共有を図りながら、利用の休止等について調整を行った。			
※ 新型コロナウイルスに家族が感染したため、職員が感染者・濃厚接触者になったが、在宅勤務等により業務に支障をきたすことはなかった。			
3	地域との連携	・ 地域ケア会議、民生児童委員協議会定例会等への出席を通じて、関係機関等との更なる連携を強化する。	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月開催される「地域ケア会議」出席し、情報収集や意見交換を行った。 ・ 介入が困難なケースについては、行政や関係機関と協力や連携をし、同行訪問を行った。 			

【人財育成】

1 研修

介護支援専門員は、広範囲な分野の知識と情報を必要とする専門職であるという認識を持ち、専門員研修以外にも、オンラインでの研修を受講し、資質向上に努めた。

(1) 職場内研修

研修内容 (計画)	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修参加の復命 ・ 処遇困難ケースの検討及び新規ケースの情報の共有、事業所全体での依頼ケースのケア取組など ・ 利用者の人権擁護、虐待防止等について ・ 対人関係、対人援助技術等について ・ 保健医療及び福祉に関する諸制度と社会資源の状況等について など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に処遇困難ケースの検討及び新規ケースの情報の共有、事業所全体での依頼ケースのケア取組について、毎月開催するケアマネ会議に併せ実施した。

(2) 職場外研修

種類	内容 (計画)	参加状況
第1種 研修	介護保険制度、総合事業に関する研修	・ 3月に動画配信により開催され 2人参加
	介護支援専門員の資格更新に伴う研修	・ 令和6年1月の更新に備え、9月 から12月の期間中、浜田会場での 研修に8日間、1人参加
	要介護認定訪問調査従事者研修	・ 7月に動画配信により開催され 2人参加
	居宅サービス・支援計画書の作成に関する研修会	・ 11月 Zoomでの研修に2人参加
	対人援助に関する研修	・ 6月 Zoomでの研修に2人参加
	医療関係・認知症・虐待防止に関する研修	・ 5月、7月 Zoomでの研修に2人参加
	権利擁護・後見人制度に関する研修	・ 不参加

- 令和4年度は、動画配信やオンライン（Zoom）による研修が多かった。
特に居宅ケアプラン研修会には職員2人が一緒に参加でき、日頃作成しているケアプランの考え方を見直す良い機会になった。

(3) 感染症の予防等に関する研修

感染症の予防及びまん延の防止のための指針に基づく研修

種類	研修項目及び開催方法	実績	到達度
研修会	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討 弥栄苑等と合同開催 	事業所内の研修は、ケアマネ会議に併せて8月に実施したが、弥栄苑との合同開催は行わなかった。	B
訓練 (バリエーション)	<ul style="list-style-type: none"> 感染症が発症した場合を想定した訓練 事業所単独及び弥栄苑等と合同開催 	事業所内では、8月にシミュレーションを行ったが、弥栄苑との合同開催は行わなかった。	B

(4) 業務継続等に関する研修

種類	内容 (計画)	実績	到達度
研修会・ 訓練	感染症及び災害に係る業務継続計画に基づいた業務継続等に関する研修 など	業務継続計画策定作業を進めたが、完成しなため実施していない。	—

2 目標面接と能力評価

- 4～5月に、職員に業務目標及び自己目標を設定してもらった。
- 12月に、職員個別に能力評価をしてもらい、結果を基に面談を行なった。

【その他】

1 会議、委員会

(1) 会議

名称	内容 (計画)	到達度
ケアマネ会議	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供に係る留意事項の伝達、運営規程等遵守の確認など。 利用者等から要望又は苦情があった場合は、その内容及び改善方針について など 	A
感染対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 事業所及び利用者の感染症の予防とまん延の防止のための対策について検討する。 	A

- ※ ケアプランの作成に際し、職員の関わりや判断に迷うケースについては、随時職員間で情報共有や相談を行いながら、点検・伝達・確認を行うように努めた。
- ※ 感染症対策委員会については、2名の職員で感染症の情報を共有し、随時感染予防対策や感染後の対策などについて検討を行った。

(2) 法人内他事業所との共催

名 称	内容 (計画)	到達度
管理者会議	円滑な事業運営のため、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行なう。	A 計画通り実施した。
役職者研修	組織及び役職者としての役割の理解と実践、自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける。	
防火管理委員会	施設の防火管理を適正に行えるよう検討する。	
感染対策委員会	感染症の予防及びまん延の防止のための対策について、母体施設である弥栄苑等と合同で開催し、検討する。	弥栄苑と合同開催できなかった。
広報編集委員会	広報誌『ひだまり』の編集	A 計画通り実施した。

(3) 法人外他事業所との共催

名 称	内容 (計画)	状況
担当者会議	サービス計画の立案及び情報提供、サービス実施の評価、計画の見直しなどを行う。	A 随時実施
事例検討会	ケアマネジメントのスキルアップを目的に、他の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会・研修を行う。	新型コロナウイルスの影響で未開催

2 公益的事業の推進及び地域との連携

名 称	内容 (計画)	参加状況
地域ケア会議	町内在住の要支援高齢者の情報共有と、包括支援が円滑に取り組まれるよう、毎月1回開催されている会議へ出席する。	毎月一回開催され参加した。
弥栄地区拡大地域ケア会議(仮称)	町内の包括ケアシステムの構築に向けて、関係者が集まり検討を行う。年2回開催される会議へ出席する。	未開催
弥栄地区ささえあい協議体会議	社会福祉協議会を中心に、町内の「支えあい活動」の波及、「地域づくり」への連携・協働を図るため、年3回開催される。	日程調整がつかず不参加

浜田市第1層協議体会議	各地区の協議体での活動報告や協議内容を基に、浜田市生活支援体制整備に関わる体制の構築を図るため、年2回開催される。	開催が予定されたが中止
-------------	---	-------------

※ 地域包括支援センターが浜田市から浜田市社協へ移管され、新体制のもと「地域包括ケアシステム」の構築に向け、包括的かつ継続的な支援体制の提供を目指すため、居宅部会・地域ケア会議が6月17日に開催され2人が参加した。

※ 浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会、浜田市内22法人のネットワーク事業である、「寄り添いつなげる場ふくしのよつば相談窓口事業」が令和4年度末に開始され、弥栄福祉会では弥栄苑の窓口を「よつば相談窓口」としている。

「よつば相談窓口」の運営において、介護の専門性を活かし、専門外については浜田市内の各法人等と連携して相談者の困りごと解決に貢献することになった。

3 職員体制

単位：人

職名	令和4年4月～6月					令和4年7月～令和5年3月					
	ケアプランやさか業務			その他業務	合計	ケアプランやさか業務			その他業務	合計	
	介護支援	事務	計			介護支援	事務	計			
管理者	正規職員	0.75		0.75	0.25	1.00	0.75		0.75	0.25	1.00
介護支援	正規職員	1.00		1.00		1.00	0.90		0.90	0.10	1.00
専門員	パート職員	0.50		0.50	0.25	0.75					
事務員	正規職員		0.20	0.20	0.80	1.00		0.20	0.20	0.80	1.00
合計		2.25	0.20	2.45	1.30	3.75	1.65	0.20	1.85	1.15	3.00

- ※ 管理者と介護支援専門員のその他業務は公益事業などで、事務員のその他業務は他事業所の事務を担当した。
- ※ 6月に介護支援専門員のパート職員が退職したため、7月からは正規職員2人体制で介護支援業務及びその他欄の公益事業（やさかやすらぎの家の相談業務、日常生活援助事業、高齢者等安心生活支援事業など）を担当した。
- ※ 介護支援専門員（常勤換算）1人あたりの利用者担当件数が35件（介護給付）を基準として対応した。

4 訪問用車両の更新

老朽化が進んでいる訪問用車両2台の更新を行った。

1台は「弥栄ヘルパーひだまり」と共用することで8月に、また、1台は「ケアプランやさか」の専用とすることで2月に、ともにリース契約による更新を行った。

【報告資料】

(1) 年度末の契約者数及びサービス利用者数の状況 単位：人

	要介護	要支援・事業対象者	合計	備考
令和3年度末	62 (48)	45 (37)	107 (85)	
令和4年度末	59 (46)	43 (34)	102 (80)	
増減	△3 (△2)	△2 (△3)	△5 (△5)	

※ () 内の数値は、介護報酬・委託料の対象になったサービス利用者数である。

※ 令和4年度末の契約者は102人で、そのうちサービス利用者（介護報酬・委託料請求件数）は80人であった。

(2) 年度末の地域別利用者数 単位：人

		弥栄地域内		三隅地域	浜田地域	合計
		在宅	寿光苑			
3年度	要介護	36	3	5	4	48
	要支援・事業対象者	32	2	2	1	37
	合計	68	5	7	5	85
4年度	要介護	36	3	2	5	46
	要支援・事業対象者	29	1	4	0	34
	合計	65	4	6	5	80

※ 令和4年度末の寿光苑を含む弥栄地域内の利用者が全体に占める割合は、要介護者は46人の内39人 84.8%で、要支援・事業対象者は34人の内30人 88.2%となった。

(3) 利用者の生活状況 単位：人

	家族と同居	高齢者夫婦	独居	施設入所	合計	うち夫婦でサービス利用
R3年3月	38	17	35	9	99	10 (5組)
R4年3月	34	13	30	8	85	6 (3組)
R5年3月	37	15	22	6	80	4 (2組)

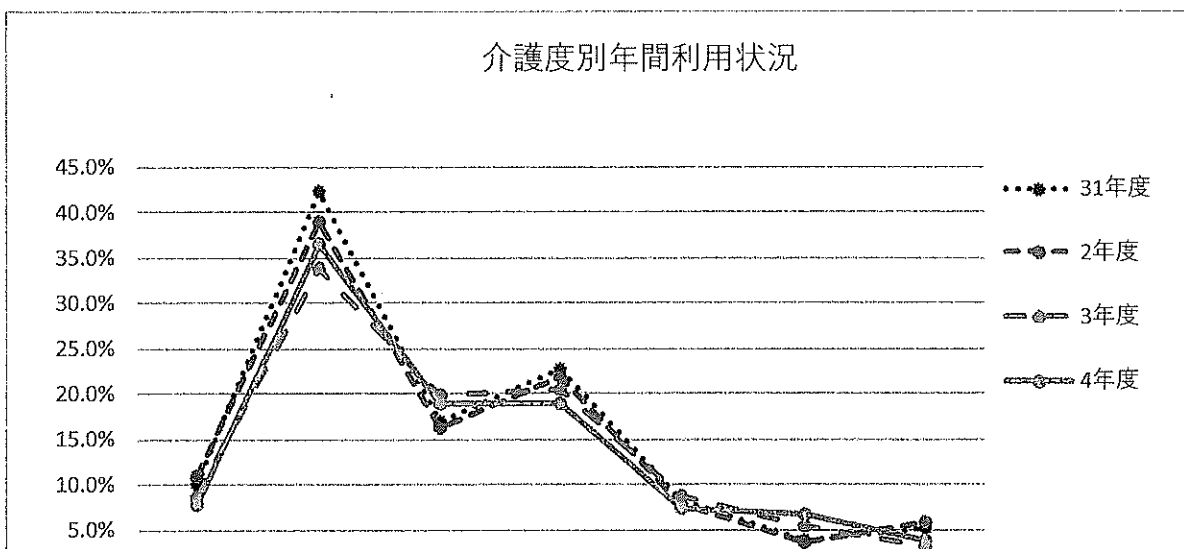
※ 施設入所は、養護老人施設及びやすらぎの家

(4) 介護度別年間利用者状況

単位：人

	事業 対象者	支援 1・2	計	介 護								延べ 利用人数
				介護1	介護2	小計	介護3	介護4	介護5	小計	介護計	
31年度	114	482	496	194	259	453	94	42	58	194	647	1,243
2年度	124	443	567	186	249	435	89	41	65	195	630	1,197
3年度	98	382	480	224	231	455	98	60	36	194	649	1,129
4年度	79	364	443	188	188	376	74	66	38	178	554	997

介護度別年間利用状況



(5) 要介護認定訪問調査実施状況

単位：人

	在宅	施設	合計	備 考
2年度	13	26	39	
3年度	35	36	71	
4年度	49	29	72	浜田市、益田市、邑南町からの要請に対応した。

(6) 介護報酬加算の状況

		初回加算	その他加算	請求合計	介護報酬に 対する割合
2年度	算定人数	24人	6人		
	請求金額	72,000円	11,000円	83,000円	0.9%
3年度	算定人数	31人	10人		
	請求金額	93,000円	19,000円	112,000円	1.2%
4年度	算定人数	35人	23人		
	請求金額	105,000円	67,500円	172,500円	1.8%

※1 初回加算は、新規利用者の居宅サービス計画作成を支援した場合に該当する。

※2 その他加算は、利用者の入院、退院・退所時等に、医療機関等と情報を連携し適切なケアプランを作成した場合などに加算される「退院・退所加算」「入院時情報連携加算」など。

(7) 家族介護者交流事業 実施状況

NPO 法人弥栄発リハビリネットと共催で、次の事業を実施した。

事業	実施日	内容	参加者数
家族交流事業	令和4年6月18日 9:30~12:00	・ 「映画観賞会」と「心の仕組みに関する講演会」を行った。	39名
	令和4年11月19日 9:30~12:00	・ 浜田市社協弥栄支所の三浦氏と弥栄中央薬局の増田薬剤師の協力を得て、「ゆるやかな見守りすごろく」で認知症への対応の仕方と「認知症の薬」について講演会	18名
介護教室	令和4年6月18日 13:00~15:40	・ 「心の仕組み」について、リフレッシュ体操を交えながら講演会を開催	21名
	令和4年10月15日 10:00~11:30	・ 「認知症について」講演会を開催	13名

(8) 特定事業所集中減算に係る判定届けの状況

判定基準	判定内容
対象サービス	訪問介護・通所介護・地域密着型通所介護・福祉用具貸与
対象率	紹介率80%以上

※ 前期、後期ともに訪問介護と通所介護については紹介率が80%を超え、減算の要件に該当するため届出書の提出を行なったが、当事業所は特別地域居宅介護支援加算（過疎地域に所在する事業所へ対する加算）を受けており、加算対象地域に居住する利用者が全体の90%を超えていることが、80%を超える正当な理由と認められ減算には至らなかった。

ア【前期】（令和4年3月～令和4年8月）の届出対象となった事業の紹介率の状況

訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
弥栄ヘルパーひだまり 100%	弥栄デイサービス 92.6%	岩多屋事業部 36.8%
	デイサービスあいの会 4.1%	植野建材店 33.2%
	美川デイサービス 2.7%	さわやかケアチーム 6.3%

イ【後期】（令和4年9月～令和5年2月）の届出対象となった事業の紹介率の状況

訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
弥栄ヘルパーひだまり 97.4%	弥栄デイサービス 94.6%	岩多屋事業部 37.3%
輝らら・タクシー 2.6%	美川デイサービス 3.6%	植野建材店 34.4%
	デイサービスあいの会 1.8%	弁慶しまね 16.3%

II 高齢者等生活支援事業

1 日常生活援助事業

種 類	目 標	実績
法人独自の 公益事業	・ 自立と生活の質の確保を図り、介護予防に繋げる。	・ 多様なニーズに対応することに努めた。
① 介護用品斡旋及び相談	・ 介護用品等についての電話・訪問による相談及び斡旋、日常生活上の相談	・ 介護保険利用者以外の相談はなかった。
② 訪問サービス	・ 食材の買い物や調理、洗濯、住居等の掃除、生活必需品の買物 ・ 食事介助、排泄、体位交換、入浴、清拭等、外出、通院、散歩等の付添い	・ 延べ利用時間が16時間 前年度に比べ8時間の減。
③ 通所サービス	・ 介護保険外の利用とする外出支援 ・ 半日利用や入浴のみの利用も可能 ・ 通所利用後の受診に伴い、家族対応が困難な場合の支援	・ 延べ32人の利用 前年度に比べ24人の減。 (回数超過の希望に対応)

2 高齢者等安心生活支援事業

種 類	目 標	実績
法人独自の 公益事業	・ 孤立感を解消し、一人でも安心して生活できる生活環境を関係機関とともに確立する。	・ 独居者等の不安解消に努めた。
<p>(1) 声かけ訪問</p> <p>【事業内容】 高齢者宅を定期的に訪問し、声かけ、安否確認、状態把握等を行ないながら相談相手や顔なじみになることなどで、孤立感の解消を図る。</p> <p>【対象者】 弥栄地域内に住所を有する75歳以上の高齢者のみの世帯、及び日常の健康状態や近隣の協力体制から支援が必要と認められる65歳以上の高齢者のみの世帯とする。 ただし、弥栄福祉会が実施する介護保険事業及び、受託事業の利用者と同じ敷地内に親族等が在住する者を除く。</p> <p>【実施状況】 対象者(世帯)のうち同意をいただいていた方は年度当初65人であったが、訪問していた対象者が死亡されたり、介護保険事業の利用開始などによって対象外になり、年度末には61人に減少した。 定期的な訪問や、安否確認を行う他の支援グループなどと連携し身体状況や日常生活上の心配ごとなどの情報収集を行い、必要に応じて定期外の訪問を行うことによって高齢者の不安解消に努めた。 次年度へ向けて、行政などの協力を得て新たに対象者の把握・見直しなどを行い、事業実施を推進する必要がある。</p>		

(2) 支援員訪問

【事業内容】

高齢者等から、体調の変化などの理由により支援要請の連絡を受けた場合は、支援員が訪問して相談や必要な支援などを行なう。

支援員の訪問は、原則として2名体制とする。

【対象者】

弥栄地域内に住所を有する75歳以上の高齢者のみの世帯、及び日常の健康状態や近隣の協力体制から支援が必要と認められる65歳以上の高齢者のみの世帯とする。

□ 支援状況（利用状況と対応内容）

対応日	対応時間	対象者	内容
4月2日	11:20～ 12:25	85歳 女性 (日中独居)	・ 救急搬送(救急車)の要請 ・ 救急搬送の付添い者要請 ・ タクシーの要請と外出支援 ・ 短期入所利用支援 ・ バイタル測定と診療所受診支援など
6月1日	17:10～ 18:00	92歳 男性 (高齢者の妻と子供 の3人世帯)	
6月20日	15:30～ 16:50	91歳と84歳 (高齢者夫婦世帯)	
7月23日	11:50～ 15:30	75歳 男性 (要介護2の母と2 人世帯)	
9月27日	9:50～ 10:40	92歳 男性 (高齢者の妻と子 供の3人世帯)	

※ 受付から訪問先を退去するまでを対応時間とし、5件の相談・対応を行なった。

Ⅲ 住宅型有料老人ホームの経営

1 やさかやすらぎの家運営事業

種 類	目 標	実績
住宅型 有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における高齢者向けの住まいとしての役割を果たす。 ・ 日常生活に不安を持つ高齢者への生活指導、及び生活支援などを行なう事により、介護予防を推進し高齢者の健康を保持する。 ・ 共同生活を通じて、社会的孤独感の解消を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【部門別の業務等】に掲げる業務を実施し、入居者の安心、安全な生活支援に努めた。

【事業内容等】

1 入居定員： 6名

2 業 務： 常駐の職員を置かず、介護保険事業所の職員が兼務で次の業務を行った。

【部門別の業務等】

部 門	業務計画等	実績
① 事務・管理 部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の運営の総括管理 ・ 契約事務 ・ 施設運営に関する庶務及び会計業務 ・ その他事務、管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料の收受 ・ 計画通り実施
② 生活支援部 門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活相談、助言 ・ 介護保険サービスの紹介、利用支援等 ・ その他生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援 ・ 計画通り実施
③ 健康管理部 門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な安否確認 ・ その他健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康相談 ・ 計画通り実施
④ 食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約制により弥栄苑（空きスペース）に来ていただいて食事（朝食、昼食、夕食）を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2,635食提供 前年度に比べ 321食の減

※ 身体拘束等適正化に向けての取組みなどの職員研修を行った。

※ 家族懇談会は、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度も開催しなかった。

※ マスクの着用、手洗いと消毒スプレーの使用など、新型コロナウイルス感染予防対策の励行を入居者へ要請した。

※ 電気製品の持ち込みなどによる電気使用量の増加に加え、電気料金の値上げにより光熱水費が不足するため、入居者に負担していただく光熱水費を次年度から値上げすることを決定した。

3 他のサービス利用： 日常生活に食事の提供、介護サービスの提供等が必要な場合は、日常生活援助事業、介護保険事業などを利用していただいた。

□ やすらぎの家 入居状況（月別利用率）

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
2年度	100	83.3	62.2	50.0	51.1	66.7	73.7	100	83.9	83.3	83.3	83.3	76.7
3年度	83.3	83.3	83.3	83.3	76.3	66.7	66.7	68.9	83.3	83.3	83.3	83.3	78.8
4年度	83.3	93.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.9	83.3	83.3	83.3	93.8

※ 1カ月の平均利用率は93.8%で、前年度に比べ15%の増となった。

事業報告の附属明細書

社会福祉法第59条第1号に基づき報告する令和3年度事業報告の附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していません。

令和5年5月

社会福祉法人 弥栄福社会
理事長 石橋正夫